

令和3年度使用県立千葉中学校  
教科用図書選定理由書

令和2年8月

千葉県教育委員会

## 令和3年度使用県立中学校教科書の採択に関する基本的な考え方

千葉県教育委員会

### 1 令和2年度の教科書採択に関して

令和2年度においては、中学校の全16種目の教科書について新たに採択を行うこととなる。

### 2 中学校の教科書採択に関して

#### (1) 採択する教科書の考え方

- ① 県の教育施策に最も適合した教科書であること。
- ② 各学校の学校教育目標を達成するために最もふさわしい教科書であること。

#### (2) 選定の基準

- ① 県の教育施策に基づいて、学校教育目標が具現化できる教科書であること。
- ② 教育課程の特色や生徒の実態等、学校の実情に適した教科書であること。

#### (3) 調査研究の観点

- ① 体験的な学習や問題解決的な学習など、生徒が主体的に学習に取り組むことができる内容が充実しているか。
- ② 生命尊重の心や自尊感情、規範意識など、各教科における道德教育との関連を考慮した内容が充実しているか。
- ③ 生徒が健康の保持増進や安全などについて自ら考え、主体的に判断し、健康で安全な生活を実践する能力と態度を育成する内容が充実しているか。
- ④ 生徒が郷土や国を愛する心や誇りをもち、自信をもって郷土や国の特色・魅力を発信するとともに、グローバル社会に対応した資質・能力を育むための内容が充実しているか。
- ⑤ 学校の教育目標に基づき、独自の教育課程の実施に適した内容が充実しているか。

### [千葉中学校教育目標]

**高い知性**：知的欲求に働きかけて不断に学び続ける自主性を伸ばし、揺るぎない学力を基礎とした幅広く深い教養を育成する。

**豊かな人間性**：多くの人びととふれ合い協働して互いに高め合う中で、他人のいたみのわかる、うるおいに満ちた人間性を育成する。

**高い志**：わが国の伝統や文化に対する深い理解と実社会への共感をもとに社会貢献の志を育み、自己を確立する基盤を育成する。

令和3年度使用県立千葉中学校教科用図書選定理由書

(種目：国語)

| 推薦 |   |  |   |
|----|---|--|---|
| 観点 | 発行者：2 東京書籍<br>-----<br>(書名：新しい国語)   | 発行者：15 三省堂<br>-----<br>(書名：現代の国語)  | 発行者：17 教育出版<br>-----<br>(書名：伝え合う言葉 中学国語)  |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"> <li>各教材とも「目標・問いかけ・言葉の力(学習のポイント)・振り返り」という一連の流れで構成されており、主体的な言葉の学び手の育成が意図されている。</li> <li>具体的な表現モデル、対話モデルが例示され、対話活動の充実を図りながら学びを深め、思考力・判断力・表現力等を育成できるよう工夫されている。学びを深めるための資料が豊富に示され、情報を活用する能力を育成できるよう配慮されている。</li> <li>キャラクターや漫画等を多用し、身近な言語生活場面から課題や目標を明確に把握できるようにするとともに、生徒が意欲的に学習を進めることができるよう配慮されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>教材冒頭の学習目標や「学びの道しるべ」で学習プロセスが明示され、何をどのように学ぶのかを理解した上で主体的に学習に取り組めるように配慮されている。</li> <li>言葉による見方・考え方を働かせながら具体的に思考・表現活動を進めるために、汎用性の高い「方略」や「思考の方法」が明示されている。言葉についての知識・技能を活用しながら言葉による学びを深め、言葉の力が身に付くよう工夫されている。</li> <li>適切な発展課題や補充教材が用意されている。生徒の学びを支援するわかりやすい表現モデルやスピーチ、対話のモデルが示されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>単元冒頭の「学びナビ」に何をどう学ぶかが示されている。また、キーワードを抽出する課題や思考・表現活動の具体的な内容や方法が提示され、見通しをもって主体的に学ぶことができるよう工夫されている。</li> <li>「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材の「学習活動の流れ」は、見開き右ページに課題や活動、左ページにサンプルやモデルが示され、両者を関連させることができるよう配慮されている。</li> <li>アニメやCM等、メディア・リテラシーに関連する教材が多教取り上げられ、身近な言語生活への関心を高められるよう配慮されている。</li> </ul> |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな情操を育む文学作品、共感する心を養うドキュメンタリー作品が適切に配列されている。また、公共の精神を育む協働的な言語活動が豊富に取り上げられている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>いのちの大切さについて深く考える教材が設定されている。他者を大切にすることを意識することができる協働的な学習活動が適切に設定されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>平和やいのちの大切さに関する教材が随所に取り上げられている。自己の価値や他者とのつながりを意識した教材を通して、道徳性を育むことができるよう配慮されており、県の施策に適合している。</li> </ul>  |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"> <li>食文化や東日本大震災が教材として取り上げられ、健康や安全について考えることができるよう工夫されている。運動や食についての文章例が示され、日常生活と関連して意識付けできるよう配慮されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>防災意識を高める教材が設定され、調べたりまとめたりする中で、自分の考えを深めることができるように工夫されている。また、食に関する文章例やスポーツに関する本が紹介されており、県の施策に適合している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>パラリンピック選手の言葉やプロテニスプレーヤーに関する社説等を教材として扱うことで、障害者スポーツや生涯スポーツへの理解を促すことができるよう工夫されている。</li> </ul>   |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の伝統や文化の理解を深める教材が各学年に適切に配置されている。近代文学作家の紹介が充実するよう工夫されている。</li> <li>日本と海外の文化を比較し、多様なものの見方を育む教材が取り上げられている。グローバルな視点の涵養につながる本が随所で紹介されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>伝統的な言語文化に触れる教材が各学年に適切に配置されている。また、俳句や短歌の表現方法について丁寧に取り扱われている。</li> <li>様々な価値観が並立するグローバル社会、共生社会の一員として求められる資質・能力を育成できるような教材が取り上げられている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の伝統的な言語文化を理解する教材が適切に配置されている。「みちしるべ」が設定され、内容の理解を深めることができるよう工夫されている。</li> <li>SDGsを踏まえた国際社会の課題等に関する教材が配置され、言語活動を通して世界との関わりについて考えることができるよう工夫されていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>  |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"> <li>教育目標にある「自主性」や「幅広く深い教養」を養う内容が充実している。また、発展的な教材や「読書への招待」等の読書に関する活動が豊富に設定され、生徒の主体的な学びにつながるよう工夫されている。</li> <li>巻末は基礎編と資料編の二つに分かれている。基礎編は「学びの扉」と連動しながら、本編で学んだ内容を振り返ったり、発展させたりすることができるよう工夫されていること等から学校の教育方針等に適合している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>教育目標にある「幅広く深い教養」、「揺るぎない学力」を育成する内容が充実している。「読み方を学ぼう」や「私の読書体験」、「読書の広場」といった発展的な読書活動へとつなげるための教材が工夫されている。</li> <li>古典は、補充教材として使える資料が設定されている。文法学習は、学習の時期に応じて適切に扱われている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>教育目標にある「自主性」や「伝統や文化に対する深い理解」を養う教材が設定されている。日本の文化や伝統に関わる教材を通して、発展的な学びにつながるよう工夫されている。</li> <li>より深く読んだり、学習内容を認識したりするための手立てが随所に示され、生徒が主体的に学ぶことができるよう工夫されている。</li> </ul>  |

(種目：国語)

|    |  |
|----|--|
| 推薦 | ○  |
| 観点 | 発行者：38 光村図書<br>-----<br>(書名：国語)  |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"><li>・目標、学習活動、振り返りが焦点化・具体化され、学習意欲が高まるように配慮されている。</li><li>・学習活動が深まるよう構成を工夫したり、単元の教材間の目標や活動を関連付けたりしている。学習活動を提示したページは上下二段になっており、下段の「学習の窓」やサンプル、モデル等を活用することを通して、主体的な学びが実現できるように工夫されている。</li><li>・各教材の末尾「広がる読書」が充実している。教材の筆者・作者の作品や関連する図書資料を示すことで、「もっと読みたい」「もっと学びたい」というニーズに対応できるよう配慮されていること等から県の施策に適合している。</li></ul> |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"><li>・国内外の平和やいのちの大切さといった豊かな心を育む教材が豊富に設定されている。他者と協働しながら思考力や想像力を養う学習を通じて、豊かな感性を育むことができるよう配慮されている。</li></ul>   |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"><li>・食に関する本を紹介したり、例文を取り上げたりと、食への関心を高められるように工夫されている。また、防災や健康に関する教材が適切に取り上げられている。</li></ul>  |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"><li>・伝統的な言語文化に触れる教材が各学年に適切に配置され、資料編が充実している。また、ビジュアル資料が充実しており、時代背景等が理解しやすいよう工夫されている。</li><li>・外国の言語文化や国際平和に関する教材が配置され、グローバル社会に対応する力を育めるよう工夫されている。</li></ul>   |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"><li>・教育目標にある「自主性」の向上や「幅広く深い教養」の育成、「多くの人との共同」や国際理解を深めることに資する内容が充実している。主体性をもって発展的な学習にも取り組める教材が適切かつ豊富に配置されている。</li><li>・古典的名作に加えて現代を代表する作家の作品が教材として多数設定されている。また、発展的な読書活動につながる読書案内が随所に設定されていること等から学校の教育方針等に適合している。</li></ul>   |

令和3年度使用県立千葉中学校教科用図書選定理由書

(種目：書写)

| 推薦 | ○   |  |   |
|----|---|--|---|
| 観点 | 発行者：2 東京書籍<br>(書名：新しい書写)  | 発行者：15 三省堂<br>(書名：現代の書写)   | 発行者：17 教育出版<br>(書名：中学書写)  |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"> <li>AB版サイズのワイドな紙面を効果的に生かすように、主体的な学習の流れや構成が実現できるように工夫されている。</li> <li>硬筆文字を実際に書くことで、学習者自ら課題の発見や把握がしやすくなり、「書写のわざ」を正しく整えて書くための原理・原則を学び、意欲的に課題を解決できるように配慮されている。</li> <li>主教材以外の文字の練習をし、様々な書き方を習得し、活用できるように工夫されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各教材が見開き2ページで構成され、学習の流れがよく分かるよう工夫されている。また、学習の目標が明確に示され、生徒が課題を自覚しながら学習できるように配慮されている。</li> <li>「書き方を学ぼう」では、「どこに気をつけて、どのように書けばよいか」といった点について具体的な字形例とともに、主体的な学習が実現できるように工夫されている。</li> <li>書写の学習への関心を高められるよう、「毛筆で身につける書きやすさ」「書い易い巻末の充実」が図られている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>AB版サイズのワイドな紙面を効果的に生かすように、主体的な学習の流れや構成が実現できるように工夫されている。</li> <li>硬筆の試し書きを通して、課題を明確にし、毛筆の学習への意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>「コラム」では、書写・文芸について豊富な話題が示され、楽しみながら文字文化への理解が深まるよう工夫されている。</li> <li>書写での学びを、様々な学習や生活に役立てられるよう配慮されている。</li> </ul> |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな情操と道徳心を養うよう、教材の対話的・活動的な学習を取り入れ、尊重し、態度を養う工夫がなされている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>手紙やはがき、はがきを通じ、言葉や心を残すことができるよう工夫されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>メッセージカードを書いたり、未来の自分活しやすさを考える工夫がなされている。</li> </ul>  |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"> <li>書写で身に付けた力を生活に生かす学習には、地域の防災訓練や、防災への意識を高める工夫がなされている。</li> <li>また、ポップ作りなどの作品例が、健康的な食生活の向上に役立つよう工夫されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ新聞では、体育祭やマラソンについて、好きな言葉や作品例が示され、健康やスポーツの楽しさについて肯定的に捉えることができるよう工夫されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>情報を整理する学習活動では、食事や運動等に関する例が取り上げられている。ポスター作成の学習では、体育祭を例に挙げ、書写の学習が日々の生活に生かされるように工夫されている。</li> </ul>   |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"> <li>文字文化「文字のいづみ」では、文字の歴史や用具、手書きの文字など、適切に扱われるべき伝統的な文字文化から現代的な文字文化まで、幅広く取り上げられている。</li> <li>古代中国を含む外国の文字文化を尊重する態度を養うことが、書写の学習を通じて図られるよう工夫されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの文字文化に触れることで、文字の役割や意義を認識できるよう工夫されている。また、巻末資料を充実させ、学習しやすい工夫がなされている。</li> <li>硬筆では漢字や仮名だけでなく、数字やアルファベットの表記についても取り扱っている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の硬筆教材に古典文学が取り入れられ、日本の伝統文化を尊重する心が育つよう工夫されている。また、「色紙」や「短冊」が適宜扱われている。</li> <li>書写の古典の鑑賞等についても扱われ、我が国では古くから中国文化に親しみ、日本の文字文化を発展させてきたことが理解できるよう工夫されている。</li> </ul>  |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の目標が体系的かつ明確である。また、硬筆と毛筆の学習が日常生活を豊かにするものとして一貫したテーマの下、数多く作られた事例が紹介され、生徒の生活に活用できるように配慮されている。</li> <li>書写に対する関心を高め、知識と教養を深める内容となっている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の目標が体系的かつ明確であり、学ぶ見通しや学習の流れが示されている。また、毛筆で書いた内容を硬筆で練習する流れを作ることで、硬筆と毛筆が生活の一部となるよう工夫されている。</li> <li>書写に対する関心を高め、知識と教養を深める内容となっている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の目標が体系的かつ明確である。また、書く喜びや表現の楽しさを、実感しながら学習を進められるよう配慮されている。加えて、本校の学校行事や運動会、行事や生徒個々の習熟度に合わせた活用が図られている。</li> <li>書写の内容に加えて、文字全般に対する関心を高め、知識と教養を深める内容となっている。</li> </ul>   |

(種目：書写)

| 推薦 |  |
|----|--|
| 観点 | 発行者：38 光村図書<br>-----<br>(書名：中学書写)  |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"><li>・「書写ブック」(ワークブック)が独立しており、自らの学びの蓄積を振り返りながら学習意欲の向上につなげられるよう工夫されている。学習内容やテーマにつながりをもたせた単元構成となるよう配慮され、技能の習得や向上を自覚しながら学習が継続できるようになっている。</li><li>・分冊構成にしたことで、教示の部分を担当する本冊のページ構成がシンプルである。書き方のポイントや課題解決的な教材を明示し、主体的な学習が実現できるよう配慮されている。</li><li>・様々な学習や実生活に活用できる資料ページが充実し、発展的な学びにつながるよう工夫されている。</li></ul> |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"><li>・自分の好きな座右の銘や歌詞の一部を書く活動が設定され、自分自身と向き合うことができるよう工夫されている。手紙やはがきを書く活動を通して、相手を尊重する態度を養うことができるよう工夫されており、県の施策に適合している。</li></ul>  |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"><li>・冊子をまとめて多くの人に知らせる学習では、卓球部の魅力についての作品例が示され、運動することの楽しさを意識できるよう工夫されている。</li></ul>  |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"><li>・古典文学を国語科の教科書と一体的に扱い、日本の伝統的な文学について理解が一層深まるよう工夫されている。また、文字の変遷について触れながら、様々な書体の特徴について理解が深まるよう工夫されている。</li><li>・現代の文字文化やUD書体の紹介等を行い、豊かな文字文化や共生社会の理解につながるよう配慮されている。</li></ul>   |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"><li>・学習の目標が体系的かつ明確である。また、書く喜び、表現する楽しさを実感することができるよう配慮されている。日常に見られる様々な文字を取り上げることで、社会生活における文字への意識を引き出す工夫が見られる。</li><li>・書写の内容に加えて、文字全般に対する関心を高め、知識と教養を適度に深めることが期待できる内容となっている。</li></ul>   |

令和3年度使用県立千葉中学校教科用図書選定理由書  
(種目：社会(地理的分野))

| 推薦 | ○  |   |   |
|----|--|---|---|
| 観点 | 発行者：2 東京書籍<br>(書名：新しい 地理 )   | 発行者：17 教育出版<br>(書名：中学社会 地理 地域こ学ぶ)   | 発行者：46 帝国書院<br>(書名：社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土 )  |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「地域調査」について、仮説に基づいた計画を作り、見通しを持ち進めていく構成になっている。「スキル・アップ」で地理的な基礎・基本の技能を身に着けるように工夫がされている。</li> <li>単元の導入とまとめの後に「探究課題」があり、「問い」を軸にした課題解決的な学習ができる単元構成になっている。</li> <li>「まとめの活動」では思考ツールの活用により、「対話的な学び」の実現でき、学習を通し力をつけて、思考力・判断力・表現力を身に付けられるようになっていること等から、県の施策に適合している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「地域調査」では「地域調査の手引き」により調査活動に必要な視点と方法が提示され、「地理の技」では、略地図の描き方、統計資料などの基本的な地理的技能を身に着けやすいように配慮されている。</li> <li>学習課題と対応をさせた「確認」と「表現」コーナーで基礎的事項の確認、地理的事象や課題の説明などの表現活動に取り組める工夫がされている。</li> <li>単元のまとめではワードチェックと「表現しよう」「意見交換しよう」の提示により対話的な学びの展開が可能である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「身近な地域の調査」では調査の手法、調査結果の分析地図の活用能力を高めるために「技能をみがく」が設けられ、具体的な調査例があり、主体的に活動ができるように構成されている。</li> <li>学習課題から始まり、「確認しよう」「説明しよう」で1時間授業が進められるように構成され学習内容の定着を図ることができる。</li> <li>節ごとの学習の振り返りでは知識・地理的な見方・考え方の習得を段階的に学ぶ構成となっている。</li> </ul>          |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「人権・平和」「伝統・文化」について、巻頭や特設ページで取り上げ、多様な文化への理解や敬意を深め、人権を尊重する態度を養えるよう考慮されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「人権・平和」「伝統・文化」について、各所コーナーや特設ページで取り上げ、多様な価値観や文化に対する理解や寛容を育み、人権を尊重する態度を養えるよう考慮されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「人権・平和」「伝統・文化」について、巻頭や各所資料で取り上げ、偏見に陥らない異文化理解を深め、人権を尊重する態度を養えるよう考慮されており、県の施策に適合している。</li> </ul>   |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"> <li>災害や震災を題材に、巻頭や特設ページで、地震や津波や発生の仕組み、防災・減災の取組を示すこと意識を高め、震災について命を守る取組に主体的に参画する態度を養える内容になっている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>災害や震災を題材に、コラムや特設ページで、地震が日本での活発な理由や防災・減災の取組を示すこと意識を高め、地域の復興にどのように関わればよいか考察できる内容になっている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>災害や震災を題材に、巻頭や特設ページで、防災・減災と震災復興の取組を示すことで、防災・減災への意識を高め、災害に強い地域・まちづくりはどうか考察できる内容になっている。</li> </ul>  |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の領域と排他的経済水域について領土の成り立ちから写真を使ってわかりやすく説明しているとともに、他国との比較で特色を見出せるようにしている。</li> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島についてそれぞれの自然環境、資源等について説明し、理解できるようにしている。</li> <li>地域の伝統産業や伝統文化の特色を、歴史的背景に関連付けて理解するとともに、新たな取組や変化に視点を当てて捉えられるよう構成している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の領域と排他的経済水域について国土の特色とともに大陸との歴史的なつながりに触れて説明している。</li> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島などの領土をめぐる現状について、歴史的経緯の説明と地図、写真を用いて、多面的に理解できるようにしている。</li> <li>各地域に根差した伝統文化や伝統産業を、地域ごとに示し、地理的条件や歴史的背景とともに維持と革新の視点で多面的にとらえられるよう構成していること等から県の施策に適合している。</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の領域、接続地域、排他的経済水域について、写真と具体例を示し説明するとともに国家としての重要性について理解できるようにしている。</li> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島について、日本固有の領土であることを条約の変遷、相手国との交渉等を背景に説明し、2国間の距離などを示しわかりやすく説明している。</li> <li>各地域の伝統的な暮らしや伝統産業を豊富な写真を用いて説明し、地域の暮らしの変化を多面的に捉えられるようにしている。</li> </ul> |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「見方・考え方」や「地理にアクセス」、現代的諸課題を含めた発展的学習を促す「もつと地理」のコーナーを設けるところで、幅広く深い教養を身に付けられるようになっている。</li> <li>世界の諸地域や日本の諸地域から単元のおいて、そこに暮らす人々の声を紹介し、社会への共感をもつよう、社会貢献の志を育めること等から、学校の教育方針等に適合している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「地理の窓」や世界や日本の現代的諸課題に迫る特設ページを設けて補充的・発展的な学習に配慮し、幅広く深い教養を身に付けられるようになっている。</li> <li>日本の諸地域において、そこに暮らす人々の声を紹介し、社会への共感をもつよう、社会貢献の志を育めること等から、学校の教育方針等に適合している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「地理プラス」や「未来に向けて」、「地域の在り方を考える」などの特設ページを設けて、補充的・発展的な学習を通して幅広く深い教養を身に付けられるようになっている。</li> <li>そこに暮らす人々の声を紹介する「声」のコーナーや、その元々のために「私たちが元々のために」のコーナーを設けること等から、社会への共感をもつよう、社会貢献の志を育めること等から、学校の教育方針等に適合している。</li> </ul>                          |

令和3年度使用県立千葉中学校教科用図書選定理由書  
(種目：社会(地理的分野))

| 推薦 |   |
|----|---|
| 観点 | 発行者：116 日本文教出版<br>-----<br>(書名：中学社会 地理的分野)  |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"><li>・「地域調査」では「スキルUP」により調査手法や情報のまとめ方等が示され、生徒が学習の見通しをもって学べるようになっている。</li><li>・「学習課題」で何を学ぶかを明示し、「見方・考え方」を働かせながら単元を通して「主体的・対話的で深い学び」を実現できるように工夫されている。</li><li>・生徒が自分で考えたり、対話したりする具体的な問や活動を提示する「チャレンジ地理」や「アクティビティ」を通して主体的な課題解決の構成となっている。</li></ul> |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"><li>・「人権・平和」「伝統・文化」について、各所資料や特設ページで取り上げ、平和・命の尊さ、文化の多様性、人権尊重の態度を養えるよう、道徳教育との関連が考慮されている。</li></ul>  |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"><li>・災害や震災を題材に、コーナーや特集ページで、ハザードマップの活用の仕方について理解を深めることで、防災・減災への備えと、自助・共助・公助の実践を意識する態度を養える内容になっており、県の施策に適合している。</li></ul>  |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"><li>・日本の領域と排他的経済水域について、写真や図を使ってわかりやすく説明するとともに、他国との比較で特色を見いだせるようにしている。</li><li>・北方領土、竹島、尖閣諸島について、それぞれの地域に関する問題及び交渉の歴史を事実にもとづいてわかりやすく説明している。</li><li>・我が国の伝統文化や伝統産業の現状を継承していく取組を革新や発展の視点で捉え、多面的にとらえられるように構成している。</li></ul>                      |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"><li>・「地理+α」や「自由研究」のコーナーを設け、補充的・発展的な学習を通して幅広く深い教養を身に付けられるようになっている。</li><li>・世界の諸地域や日本の諸地域の単元において、そこに暮らす人々の声を紹介し、実社会への共感をもとに、社会貢献の志を育めるよう考慮されている。</li></ul>   |



令和3年度使用県立千葉中学校教科用図書選定理由書  
(種目：社会(歴史的分野))

| 推薦     |  |   |  |
|--------|--|---|--|
| 観<br>点 | 発行者：2 東京書籍<br>(書名：新しい社会 歴史)  | 発行者：17 教育出版<br>(書名：中学社会 歴史 未来を<br>開く)   | 発行者：46 帝国書院<br>(書名：社会科 中学生の歴史<br>日本の歩みと世界の動き)  |
| ①      | <ul style="list-style-type: none"> <li>「探究課題」「探究のステップ」「学習課題」の3段階の問いで単元構成がされ、問題解決学習において主体的に思考・判断できる構成がされている。</li> <li>「スキル・アップ」で歴史学習に必要な技能の定着を図り、「資料から発見!」「もっと歴史」より深く歴史事象を学ぶことができる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>章の導入「学習をはじめよう」で時代を概観する資料と問いから見通しや興味をもって学習を始める工夫がされている。</li> <li>学習から関心を広げていくコラム「歴史の窓」やテーマ学習のページ「歴史を探ろう」で個人やグループでの協働作業で深く学習していくことができる構成がされている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>単元を通して「章の問い」「節の問い」「学習課題」が明示され、歴史学習を、主体的に思考・判断・表現ができ、問題解決学習がすすめられる構成になっている。</li> <li>節の冒頭に「タイムトラベル」を設け、各時代の学習の見通しと動機付けができるように工夫がされていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>  |
| ②      | <ul style="list-style-type: none"> <li>人権・平和の尊重などについて、ページを割いて扱い、人権尊重・多文化共生の意識を高め、平和を希求する態度の育成を図るようになっている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>人権・平和の尊重などについて、内容などについて拡充し扱い、多文化共生の意識を高め、平和と共生への関心が高まるよう工夫がされている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>人権・平和の尊重などについて、コラムを豊富に設けることで積極的に取り上げ、生命や個人の価値を尊ぶ態度を養えるようになっていること、県の施策に適合している。</li> </ul>  |
| ③      | <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史上の災害や東日本大震災を乗り越えてきた人々の姿、歴史上の防災対策を、本文ページや「もっと歴史」で取り上げ、防災への意識や態度を養うようになっている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の公害問題の原点といわれる足尾鉍毒事件について取り上げ、環境保全への取組の歴史的背景について理解を深め、環境保全に寄与する態度を養うようになっていること、県の施策に適合している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>環境について、コラムの学習により、先人たちの取組から学び、よりよい未来の社会をつくるための意識と生命や自然を尊ぶ態度を養うようになっている。</li> </ul>   |
| ④      | <ul style="list-style-type: none"> <li>国宝、重要文化財、世界遺産、世界の記憶、無形文化遺産には図版に印があり日本の伝統や文化を認識できるようにしている。</li> <li>学習を深めるページで神話や伝統文化を取り上げ、内容を理解するとともに現在との繋がりを考えられるよう構成している。</li> <li>我が国の領土をめぐる問題について、歴史的背景と人々の生活を結び、現在までの経緯を示すことで問題をわかりやすく説明している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産、国宝、重要文化財には図版に印があり、日本の伝統や文化を認識できるようにしている。</li> <li>学習を深めるページでは、古代信仰や琉球とアイヌの文化、人々の暮らしについて学び、現在の文化との結びつきについて捉えられるよう構成している。</li> <li>我が国の領土をめぐる問題について、歴史的背景を理解し、現状を平和的に解決するための視点を認識できるようにしている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産、世界の記憶、国宝には図版に印があり、巻頭見開きには特集ページがあり、日本の伝統文化を注視する構成となっている。</li> <li>学習を深めるページでは、文化の担い手となった人々の努力や工夫に視点を当て、日本の伝統や文化を多面的に理解するよう構成している。</li> <li>我が国の領土をめぐる問題について、根拠となる条約等を示しながら領土の確定と領有の経緯について理解できるようにしている。</li> </ul>   |
| ⑤      | <ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史にアクセス」や「もっと歴史」などを通して、幅広く深い教養を身に付けられるようになっている。</li> <li>「みんなでチャレンジ」など対話的な学習の場面を設けることで、他者と協働しながら学習内容を深め合えるようになっている。</li> <li>「地域の歴史を調べよう」では身近な地域の未来について構想し発信する場面を設けるなど、社会貢献の志を育めるように考慮されている。</li> <li>本文の内容を補充する資料が豊富で、説明も充実しており、学習を深められるようになっている。また、「資料から発見!」など、生徒の知的欲求を満たすしかけが多いこと等から学校の教育方針等に適合している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史の窓」などのテーマ学習のページを設け、幅広く深い教養を身に付けられるようになっている。</li> <li>「確認と表現」や「学習のまとめと表現」において、説明や話し合いなどを通して学習内容を理解できるよう工夫されている。</li> <li>歴史学習を未来にどう生かすか発信する場面を設けることで、社会貢献の志を育めるように考慮されている。</li> <li>本文の内容を補充する資料を掲載し、適宜その説明がなされ、生徒の探究的な学習に活用しやすいようになっている。また、「歴史の技」では歴史学習における技能を身に付けられるように配慮されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史を探ろう」や「未来に向けて」「歴史プラス」「地域史」などを通して、幅広く深い教養を身に付けられるようになっている。</li> <li>単元のまとめや「多面的・多角的に考えてみよう」では対話的な作業を通して、他者と協働しながら学習内容を深められるようになっている。</li> <li>様々な立場や選択をふまえて考察する活動を多数設け、主体的に社会に貢献しようとする態度を養えるよう考慮されている。</li> <li>本文の内容を補充する資料が豊富で、その説明も充実しており、学習を深められるようになっている。また、「技能をみがく」など、情報分析能力も養えるよう工夫されている。</li> </ul> |

| 推薦     |  |  | ○   |
|--------|--|--|---|
| 観<br>点 | 発行者：81 山川出版社<br>(書名：中学歴史 日本と世界)  | 発行者：116 日本文教出版<br>(書名：中学社会 歴史的分野)  | 発行者：227 育鵬社<br>(書名：[最新] 新しい日本の歴史)   |
| ①      | <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマについての発問が付けられ、本文を読む視点や発問形式で関連資料に注目すべき点を提示し、興味をもって問題解決学習に取り組む構成がされている。</li> <li>「歴史を考えよう」では、様々な視点で歴史を考え、「地域からのアプローチ」では日本の7地域から歴史学習を紹介するなど、見方・考え方を身に付けられるような工夫がある。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>導入で見通しをもち、「学習課題」を「見方・考え方」を働かせながら、考察を進め解決し、「チャレンジ歴史」で考察を深め、まとめの「アクティビティ」で時代の特色を捉える活動に主体的に取り組む構成になっている。</li> <li>「歴史+α」等、コーナーやコラムにより歴史事象を多角的に考えることができるように工夫されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決型学習の構成がされ、見開き毎に学習課題、学習内容を振り返るコーナーが表示され、主体的に取り組むことができる。</li> <li>各章の「学習のまとめ」や「歴史のターニングポイント」、「『私の歴史博物館』をデザインしてみよう」で複数の資料の情報を元に意見交換や議論で主体的、対話的な学びができるよう構成されている。</li> </ul>  |
| ②      | <ul style="list-style-type: none"> <li>人権・平和の尊重などに関する記述を通して、男女の平等を重んじ、自他の敬愛と協力、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことに配慮されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>人権・平和の尊重などについて、特設ページ・コラムを設置して、先人たちの取組を学び、解決の手立てについて、歴史をふまえて考えるように工夫されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>人権・平和の尊重などについて、詳しい資料により、男女の平等、自他の敬愛と協力、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことに配慮されている。</li> </ul>  |
| ③      | <ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題や災害・震災について本文叙述や図版の中で、視点をもつ工夫がされ、生命を尊び、環境の保全に寄与する態度を養うようになっている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>近年の災害について学ぶとともに、防災・減災に対する先人の取組を踏まえ、災害に強い社会の実現を考えることができるようになっている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史ズームイン：震災の日本史」において、震災の歴史をテーマ別通史の視点で特集し、震災の記憶と教訓から、防災への意識や態度を養うようになっている。</li> </ul>   |
| ④      | <ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産、国宝には図版に印があり、巻頭には日本の世界遺産が地図上で一覧できる工夫がされるなど、伝統や文化を注視するよう構成している。</li> <li>学習を深めるページでは、様々な地域の文化や交易、人々の暮らしなどを取り上げ、伝統文化や日本人としての意識を認識するよう構成している。</li> <li>日本の領土をめぐる問題について、根拠となる条約をもとに歴史的経緯を示すとともに、周辺国の主張を図式化して説明している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>国宝と世界遺産には図版に印があり、日本の伝統や文化を認識できるようにしている。</li> <li>学習を深めるページでは、伝統文化や産業の発展など、様々な分野で偉業を成し遂げた人物の、努力や工夫、発展の経緯を学べるよう構成している。</li> <li>冷戦後の近隣諸国との関係を、地図上の位置や、写真を示しながら、歴史的経緯を詳しく説明するとともに、領土に関する問題、賠償問題、交流の経緯などから分かりやすく説明している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭の「日本の美の形」では、国宝、世界遺産に印をつけるとともに日本の文化の歴史に注視するよう構成している。</li> <li>学習を深めるページでは、宗教、考古学、神話、浮世絵、文学などを取り上げ、古代から近代までの日本人の見方や考え方を捉えられるよう構成している。</li> <li>我が国の領土をめぐる問題の歴史として、近隣諸国との交渉の経緯を説明し、地図上で位置を示すなどわかりやすく説明していること等から県の施策に適合している。</li> </ul>  |
| ⑤      | <ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史へのアプローチ」や「コラム」、「人物」といったコーナーを通して、幅広く深い教養を身に付けられるようになっている。</li> <li>取り上げた課題を話し合い、考察し合う「歴史を考えよう」の特設ページでは、他者と協働しながら学習内容を深められるようになっている。</li> <li>本文の内容を補充する資料が豊富で、各時代の世界の様子を地図とイラストで紹介しており、生徒が学習を深められるようになっている。</li> <li>高等学校への円滑な接続が意識された資料が掲載されており、学習への意欲を高めることにつながっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史を掘り下げる」や地域史や女性史など歴史の学習を豊かにするコラムを通して、幅広く深い教養を身に付けられるようになっている。</li> <li>「チャレンジ歴史」を通して、資料をもとに考察したり、対話したりして、他者と協働しながら学習内容を深められるようになっている。</li> <li>歴史学習の最後に「歴史との対話」を未来に生かすというテーマ学習を設けて課題解決を育めるように考慮されている。</li> <li>本文の内容を補充する資料が豊富で、説明も充実しており、探究的な学習に活用しやすいようになっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史ビュー」や「人物クローズアップ」、「歴史ズームイン」などのコラムや特設ページを通して、幅広く深い教養を身に付けられるようになっている。</li> <li>「歴史のターニングポイント」では、様々な資料をもとに考察し話し合う場面を設け、他者と協働しながら学習内容を深められるようになっている。</li> <li>最後の単元で、歴史学習を未来へどう生かすかについて未述べた文章にまとめる活動を通して、社会貢献の志を育めるように考慮されている。</li> <li>本文の内容を補充する資料を掲載し、適宜説明がなされ、探究的な学習に活用しやすいようになっている。</li> </ul> |

| 推薦 |  |
|----|--|
| 観点 | 発行者：229 学び舎<br>-----<br>(書名：ともに学ぶ日本の歴史)  |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"><li>・単元の終わりに振り返りが設けられ、学習のまとめや意見交換で協働的な学習が行えるような課題設定がされている。</li><li>・「歴史を体験する」では火おこしや糸紡等の体験学習の紹介やインターネットや博物館の利用、体験者から聞き取り調査などの学習方法を紹介し体験学習への意欲付けの工夫がされている。</li></ul>  |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"><li>・人権・平和の尊重などに関する記述を通して、男女の平等を重んじ、主体的に社会の形成に参画する態度及び国際平和に寄与する態度を養えるようになっている。</li></ul>   |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"><li>・東日本大震災、公害問題、原子力発電所の事故等の本文や図版により、被災地の復興と防災への意識を高め、生命を尊び環境保全に寄与する態度を養えるようになっている。</li></ul>  |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"><li>・授業の導入部分に絵図や写真を配置し、物語風の文章による解説で時代背景をよりわかりやすく親しみをもって捉えられるよう構成している。</li><li>・伝統と文化の学習では、文化を生み出す背景への理解と、文化を継承した人々の営みを具体的に描き、伝統と文化を尊重し継承する態度を養えるよう構成している。</li><li>・現代社会を学ぶ単元では、日本や国際社会が抱える問題を多面的に捉えられるよう構成している。</li></ul>  |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"><li>・生徒を歴史の場面に導き、その時代を具体的にイメージできるように「フォーカス」を設け、学習内容を補充し、幅広い知識を身に付けられるようになっている。</li><li>・火おこしや糸つむぎなどの体験学習を行う特設コーナーである「歴史を体験する」を通して、他者と協働しながら学習内容を深められるようになっている。</li><li>・本文の内容を補充する資料を大きく掲載し、またその説明が適宜行われ、生徒が学習内容を定着しやすいようになっている。さらに、興味のわくタイトルをつけ、生徒の関心を引き出す学習課題を設定しようとする工夫が見られる。</li></ul> |

令和3年度使用県立千葉中学校教科用図書選定理由書

(種目：社会(公民的分野))

| 推薦 |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 観点 | 発行者：2 東京書籍<br>(書名：新しい社会 公民 )  | 発行者：1.7 教育出版<br>(書名：中学社会 公民 とともに生きる)  | 発行者：4.6 帝国書院<br>(書名：社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して)   |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1単位の時間を示し、学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>「学習課題」を「公民」として扱う。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> </ul> |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「基本的人権」を「公民」として扱う。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>「基本的人権」を「公民」として扱う。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>「基本的人権」を「公民」として扱う。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> </ul>      |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「防災」を「公民」として扱う。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>「防災」を「公民」として扱う。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>「防災」を「公民」として扱う。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> </ul>         |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「文化」を「公民」として扱う。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>「文化」を「公民」として扱う。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>「文化」を「公民」として扱う。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> </ul>         |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> <li>「公民」を身に付けるための学習の進め方を示す。</li> </ul> |

令和3年度使用県立千葉中学校教科用図書選定理由書  
(種目：社会 (公民的分野))

| 推薦     |   |   | ○  |
|--------|---|---|--|
| 観<br>点 | 発行者：116 日本文教出版<br>(書名：中学社会 公民的分野)   | 発行者：225 自由社<br>(書名：新しい公民教科書)  | 発行者：227 育鵬社<br>(書名：[最新] 新しいみんなの公民)   |
| ①      | <ul style="list-style-type: none"> <li>編(章)を通し、「見方・考え」を設け、それを活用し、深い理解を促す。</li> <li>「学習の整理と活用」や「チャレンジ学習」など、対話的な学習を促す。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「ミニ知識」のコーナーで、重要な言葉を正確に理解する。</li> <li>「もっと知りたい」などの特設ページやコラムを通して、幅広い知識を身に付けられる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>興味・関心を高め、内容を理解し、課題解決や調査学習を通して「考える力」を育てる。</li> <li>「スキルアップ」では公民の基礎的スキルを身に付ける。</li> </ul> |
| ②      | <ul style="list-style-type: none"> <li>「基本的人権の尊重」について、個人と権限のバランスを重視する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>発展的に学習し、理解を深める。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「基本的人権の尊重」について、特集コーナーで、学習を深める。</li> </ul>   |
| ③      | <ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災の教訓を学び、防災意識を高める。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>防災に関する知識を身に付ける。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>防災教育について、学習を深める。</li> </ul>   |
| ④      | <ul style="list-style-type: none"> <li>現代の文化や価値観を学ぶ。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本文化の特色を学ぶ。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>宗教、科学、芸術など、多岐にわたる文化を学ぶ。</li> </ul>  |
| ⑤      | <ul style="list-style-type: none"> <li>「公民+α」を通して、幅広く深い教養を身に付ける。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「もっと知りたい」などの特設ページやコラムを通して、幅広い知識を身に付けられる。</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>「学習を深めよう」などのコラムを通して、幅広く深い教養を身に付ける。</li> </ul>   |

(種目：地図)

| 推薦 | ○   |  |
|----|---|--|
| 観点 | 発行者：2 東京書籍<br>(書名：新しい社会 地図)   | 発行者：46 帝国書院<br>(書名：中学校社会科地図)   |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"> <li>一般図とならび、気候、土地利用などの基本資料、地域の探究課題としてのテーマ資料があり、多面的・多角的な考察を伴う調べ活動ができるように構成されている。</li> <li>歴史や公民学習ともつなげることができる表記があり幅広い学習が可能である。</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>「地図活用」の表記により、地理的な見方・考え方やそれにつながる視点が示され主体的な学びができるよう構成されている。</li> <li>テーマ別の資料図があり、地域の比較をすることで地域の特色が理解しやすくなっていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>   |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"> <li>国連のSDGs(持続可能な開発目標)に代表される国際社会で起こっている貧困・飢餓問題や紛争・難民問題等を特集ページで設け、世界の諸課題の理解を促し、生命や人権を尊重する態度や自分にできることを実践しようとする資質・能力を養えるようになっており、県の施策に適合している。</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>「各国語のあいさつの例」の資料では、男女の数をほぼ同数で掲載し男女平等を意識できるようにしている。また、「地図活用」のコーナーでは貧困や難民問題の資料を扱うことにより、世界の諸課題の理解を促し、生命や人権を尊重する意識を育むことができるようになっている。</li> </ul>  |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災の資料などを掲載し、多様な災害と対策・防災を捉えられるようにしてある。ハザードマップから、災害にどのように備え、どのように向き合うべきか生徒に課題意識を持たせ、防災・安全の意識を高められるようになっている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災の資料などを掲載し、多様な災害と対策・防災を捉えられるようにしてある。ハザードマップの見方を身に付けることで、生徒自身が地域社会の一員として防災への意識を高められるようになっており、県の施策に適合している。</li> </ul>  |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本と諸外国との結びつきを、歴史的なつながりとともに理解するように配慮されている。</li> <li>日本の伝統文化や生活については、地域ごとの特色を捉えられるよう事例を精選して構成している。</li> <li>日本の領土に関するページには、大きく写真が掲載され、領土をめぐる問題については、歴史的経緯が示されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本と諸外国との結びつきを、州ごとの産業や貿易の特色を踏まえて示している。</li> <li>日本の観光地や歴史遺産、生活文化等について、地域を一目で見て特色を捉えられるように構成している。</li> <li>日本の領土に関するページには、写真の掲載と共に領域について理解ができるように示されていること等から、県の施策に適合している。</li> </ul>                |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が学習する上で必要な地図や資料が取り上げられている。特に、世界と日本の現代的諸課題に関する特集ページを設けて豊富な資料を掲載し、補充的・発展的な学習に配慮されている。</li> <li>豊富な統計資料やテーマごとに資料を参照できる「資料さくいん」は、生徒の探究的な学習に活用しやすいようになっている。</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が学習する上で必要な地図や資料がバランスよく取り上げられている。特に、地理的事象の背景や要因、世界と日本の現代的諸課題に関する資料が豊富に掲載されており、補充的・発展的な学習に配慮されている。</li> <li>豊富な統計資料は、上位国と上位県の数値を赤字で示すなど、生徒の探究的な学習に活用しやすいようになっていること等から、学校の教育方針等に適合している。</li> </ul> |

| 推薦 |  |  |  |
|----|--|--|--|
| 観点 | 発行者： 2 東京書籍<br>(書名： 新しい数学 )  | 発行者： 4 大日本図書<br>(書名： 数学の世界 )   | 発行者： 11 学校図書<br>(書名： 中学校数学 )   |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭や章末で「数学の学び方」を示しており、深い学びにつなげる方向付けがなされている。</li> <li>・各章の導入時に、身近な生活場面を数学の問題として扱うことで、興味・関心を高める工夫があり、問題解決的な学習ができるよう配慮されている。</li> <li>・「学びをひろげよう」「数学のまど」などのトピックが充実しており、数学の世界を広げ主体的な学習を促す工夫がある。</li> <li>・章末の「章の問題A・B」では、「合唱コンクールにおけるいす並べ」等、学習した内容を体験に応用する発展的な問題を扱っており、数学への興味・関心を高めるよう配慮されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭で「数学の学び方」を示しており、深い学びにつなげる方向付けがなされている。</li> <li>・各章の導入時に、時事的な素材を扱っている。生徒の実体験を基に興味・関心を高める工夫があり、問題解決的な学習ができるよう配慮されている。</li> <li>・「MATHEFUL」「つながる・ひろがる数学の世界」等のトピックが充実している。「発見！仕事のなかの数学」では社会人と数学の繋がりについて取り上げ、キャリア教育の側面も持つ。</li> <li>・各章で学んだことを利用した応用問題が充実しており、数学に対する発展的な思考を高めるよう配慮されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭で「数学の学び方」を示し、深い学びに向かう方向付けがなされている。</li> <li>・各章の導入時に、身近な事象や課題を扱い、生徒の興味・関心を高める工夫があり、問題解決的な学習ができるよう配慮されている。</li> <li>・各章末の「利用」において、問題の考え方を説明する方向づけがあり、対話的な学習ができるよう配慮されている。</li> <li>・各章末の「まとめの問題」では、基本、応用、活用の段階を示して配列されており、主体的な学習を促す工夫があるとともに、実生活の場면을素材として発展的な思考を高める工夫がある。</li> </ul> |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・比例と反比例の素材で車いすマラソン、巻末の「数学の自由研究」で点字やアメリカホームステイを取り上げる等、人権の尊重、思いやりや国際理解等の道徳的側面に配慮されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・確率の学習に関連して、点字を素材として取り上げ、「MATHEFUL」では、フード・マイレージを取り上げる等、人権の尊重や環境問題等の道徳的側面に配慮されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の巻末の「さらなる数学へ～協働学習のページ～」では、SDGsの目標に係るトピックを取り上げる等、国際貢献や自然愛護等の道徳的側面に配慮されており、県の施策に適合している。</li> </ul>  |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正負の数では、バスケットボール部員の身長、データの活用では、サッカー部のチーム分析について取り上げる等、生徒の運動への関心が高まるよう配慮されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの比較では、バレーボール選手の身長、標本調査では、ハンドボール投げを素材として取り上げる等、運動と健康について学べるよう配慮されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関数やデータの分析の学習では、バスケットボールの得点のデータや野球の投手の球種のデータを考える等、生徒の運動への関心が高まるよう配慮されている。</li> </ul>  |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸時代の数学の書物「算法点竄指南録」を題材として取り上げたり、伊能忠敬の業績を取り上げたりする等、日本の伝統文化を大切にした編集である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・連立方程式では、数学の手引き書「算法童子歌車」、「MATHEFUL」では、「さっさ立て」を取り上げる等、日本の伝統文化を大切にした編集である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平面図形では、「麻の葉」などの日本の伝統的文様、巻末の「数学の歴史」では、和算に触れる等、日本の伝統文化を大切にした編集であり、県の施策に適合している。</li> </ul>  |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題構成を工夫し、発達の段階に応じるよう配慮されている。また、基礎的・基本的な知識や技能が習得できるように問題が構成されている。</li> <li>・巻末に「大切にしたい見方・考え方」「数学の自由研究」と題して、課題学習や自由研究のページを充実させ、探究や自学用の教材として適している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことを利用して事象を数理的に考察・表現し、数学の有用性を実感できるよう、すべての章に「利用」の節を設けている。</li> <li>・基本的内容が手厚く扱われている。また、巻末に「力をのばそう」と題して、発展的な問題を配し、生徒の一層の学習を促している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識・技能が習得できるように問題が構成されている。また、生徒が主体的に学べるように説明が工夫されている。</li> <li>・章末に「深めよう！」と題した発展的な問題、巻末に「さらなる数学へ」と題した発展的な問題や学習の仕方を学べるページを設け、探究や自学用の教材として適している。</li> </ul>   |

| 推薦 |   |   | ○   |
|----|---|---|---|
| 観点 | 発行者： 17 教育出版<br>(書名： 中学数学 )   | 発行者： 61 啓林館<br>(書名： 未来へひろがる数学 )   | 発行者： 104 数研出版<br>(書名： 日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの数学)  |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭や章末で「数学の学び方」を示しており、深い学びにつなげる方向付けがなされている。</li> <li>・各章の導入時に、自然事象や実際の生活場面を素材として扱い、数学への興味・関心を高め、問題解決的な学習ができるよう配慮されている。</li> <li>・各章末の「章の問題」では、基礎的な内容を復習する問題と具体的な場面に利用する問題や活用する問題があり、数学の世界を広げ、実生活に生かす学びができるよう配慮されている。</li> <li>・各章末の「活用」において、数学的活動の段階を示して考察させる工夫があり、主体的な学習が行えるよう配慮されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」の2編で構成されている特徴がある。</li> <li>・「みんなで学ぼう編」の導入時に、自然素材や身近な場面を素材として扱い、数学に対する興味・関心を高める工夫があり、問題解決的な学習ができるよう配慮されている。</li> <li>・各章の「説明しよう」「話し合おう」「まとめよう」では、考え方の段階が示されており、基礎・基本が確実に定着できるよう配慮されている。</li> <li>・「自分から学ぼう編」では、学習内容をさらに深化させ、主体的な学びを育てることができるよう配慮されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本冊と「探究ノート」の2部構成になっている。「探究ノート」を活用することで、主体的な学びを育てる工夫がある。</li> <li>・各章の導入時に、自然や身近な事象を素材として扱い、興味・関心を高め、問題解決的な学習ができるよう配慮されている。</li> <li>・各章末の「利用」では、学習した内容を基に身の回りの問題を解決する構成があり、主体的な学びができるよう配慮がある。</li> <li>・巻末「数学旅行」では、歴史的な問題や「封筒で立体をつくってみよう」のような発展的な問題を扱い、数学に対する興味・関心を高めることができるよう配慮されていること等から、県の施策に適合している。</li> </ul> |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの活用では、地球の温暖化、関数の学習では、スロープを題材に取り上げ、バリアフリー新法に言及するなど、環境問題や人権の尊重等の道徳的側面に配慮されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・連立方程式の学習では、社会福祉体験や車いすバスケットボール、データの活用では、少子高齢化を題材に取り上げ、人権の尊重や福祉等の道徳的側面に配慮している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次関数では、斜面の勾配、巻末の「数学旅行」では、地球温暖化問題や桜の開花日を取り上げるなど、人権の尊重、自然愛護や環境問題等の道徳的側面に配慮されている。</li> </ul>   |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・比例の学習では、ジョギングや視力検査で使われているランドルト環、連立方程式では、バスケットボールを扱う等、保健や運動について学べるよう配慮されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正負の数では、縄跳び大会やバスケットボール大会、関数の学習では、走り幅跳びの題材を取り上げる等、生徒が健康や安全について学べるよう配慮されており、県の施策に適合している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・標本調査では、生徒の睡眠状況の調査、データの活用の学習では、全国体力テストを題材として取り上げる等、健康や安全について学べるよう配慮されている。</li> </ul>   |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字と式では、和算「塵劫記」、平面図形では、「麻の葉」などの日本の伝統模様を題材にする等、日本の伝統文化を大切にした編集である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平面図形では、「市松」や「矢絰」など日本の伝統的な模様、図形と相似では、祭りを題材にする等、日本の伝統文化を大切にした編集である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次関数では、ししおどし、巻末の「数学旅行」では、曲尺や和算を題材にする等、日本の伝統文化を大切にした編集である。</li> </ul>  |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明や問題が充実し、数学的活動を通して基礎的・基本的事項の習得と活用する力の育成が図れるように工夫されている。</li> <li>・章末や巻末の問題の扱いも多く、発展的な学習が充実している。また、「学びのマップ」では、これまで学習したことを効率よく復習できるよう工夫されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的活動を通して、基礎・基本の習得とともに、生徒が主体的に活用する力の育成が図られる内容となっている。</li> <li>・「自分から学ぼう編」では、発展的な問題や復習問題を配して、生徒の一層の学習を促している。また、「学びをいかそう」では、探究もできる自学教材として適している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明や例題、基本問題が充実しており、数学的な見方・考え方を取得し定着を図れるように工夫されている。</li> <li>・「発展」や「チャレンジ編」等の問題の扱いも多く、発展的な学習が充実している。また、「考えよう」「やってみよう」「チャレンジ編『力をのばそう!』」は、探究もできる自学教材として適していること等から、学校の教育方針等に適合している。</li> </ul>   |



| 推薦 |  |
|----|--|
| 観点 | 発行者： 116 日本文教出版<br>-----<br>(書名： 中学数学 )  |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 巻頭で「数学の学び方」を示しており、深い学びにつなげる方向付けがなされている。</li><li>・ 各章の導入時に、実体験に基づく「気温」等の身近な素材や「伊能忠敬の測量」等の歴史的素材を扱い、数学に対する興味・関心を高め、問題解決力を高めようとする配慮がある。</li><li>・ 各章末問題で「説明できるかな」と題した問題を配し、学習した内容を用いて自分の言葉で表現させ、対話的な学びを促す工夫がある。</li><li>・ 各章末の「活用」において、数学的活動の段階を示して考察させる工夫があり、主体的な学習が行えるよう配慮されている。</li></ul> |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 1次関数では、スロープを取り上げ傾きの学習を行ったり、巻末の「数学マイトライ」では点字のしくみを取り上げたりするなど福祉や思いやり等の道徳的側面を配慮されている。</li></ul>  |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 正負の数では、台風や大雨などの水害、データの分布の学習では、全国の猛暑日を題材として取り上げる等、健康や安全について学べるよう配慮されている。</li></ul>  |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 各単元のトピックや巻末資料で「塵劫記」や「発微算法」等の和算を題材に取り上げるなど、日本の伝統文化を大切にした編集である。</li></ul>  |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 基礎的・基本的な知識・技能が習得できるように問題が構成されている。また、生徒が主体的に学べるように説明が工夫されている。</li><li>・ 巻末に「数学マイトライ」と題した発展的な問題を配して、生徒の一層の学習を促している。また、レポートの書き方について触れるなど探究もできる自学教材として適している。</li></ul>   |

## 令和3年度使用県立千葉中学校教科用図書選定理由書

(種目： 理科 )

| 推薦     |   |   |   |
|--------|---|---|---|
| 観<br>点 | 発行者：2 東京書籍<br>-----<br>(書名：新しい科学)   | 発行者：4 大日本図書<br>-----<br>(書名：理科の世界)  | 発行者：11 学校図書<br>-----<br>(書名：科学)   |
| ①      | <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学習を進めやすいように、学習活動が細かく分けて提示されている。</li> <li>学習の前後で同じ問いをすることによって、学習を通して生徒自身の変容を捉えやすくなっている。</li> <li>「学びをいかして考えよう」によって、学習内容を振り返り、活用が図られている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>観察や実験が豊富で、様々な現象を生徒が直接体験できる内容になっている。</li> <li>学習内容を日常生活に活用していくような探究活動が章末に設定されている。</li> <li>「思い出そう」によって既習事項と現在の学習内容との関連付けがなされている。</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>観察や実験が精選されたものとなっている。</li> <li>「探究のCan-Do List」によって、観察や実験の目標を常に確認できるようにしている。</li> <li>「学びを日常にいかしたら」によって、学習内容と日常生活との関連付けがなされている。</li> </ul>  |
| ②      | <ul style="list-style-type: none"> <li>観察や実験において、具体的な配慮が示されており、生物を愛護し、自然環境を保全する態度の育成が図られている。</li> <li>「教科関連マーク」を使って道徳との関連がわかりやすく表記されていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>観察や実験において、生命や環境に対する配慮がなされ、その意義が示されるなど、生命尊重や自然環境を保全する態度の育成が期待できる。</li> <li>環境問題に関連する項目に「環境マーク」が付けられ、意識を高めるよう工夫がある。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>生物単元の「Can-Do List」において、「生物を大切にし、むやみに傷つけない」ことを目標に挙げ、生命尊重の態度を育成するよう配慮されている。</li> <li>4人のキャラクターが協力して探究する様子を示し、協力する態度を育成するよう配慮されている。</li> </ul>  |
| ③      | <ul style="list-style-type: none"> <li>コラム「防災と科学」で、放射性物質について取り上げ、人体への影響と正しい利用方法について記載されている。</li> <li>「理科室の決まり」により、誤った行動探しをとおして、理科室の心得や実験器具の扱い等を考えさせている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>コラム「つながる」で熱中症の予防等について取り上げ、健康と安全へ教科横断的な学習内容で記載されている。</li> <li>観察や実験における注意は、キャラクターが注意喚起を示し、生徒が目ししやすいような表記がされていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>コラム「理科のトリセツ」の中にある実験室を使うコツから基本を学ばせ、各観察や実験の安全な器具の使い方について、赤字で強調して記載してある。</li> <li>コラム「サイエンスカフェ」で、防災や安全について取り上げている。</li> </ul>   |
| ④      | <ul style="list-style-type: none"> <li>コラム「from Japan 世界につながる科学」では、単元の学習内容と実生活との関わりについて、詳細に記述されている。日本の優れた技術や研究者の記述がある。</li> <li>日本の歴史や伝統に関わる記述があり、日本の科学の発展について示されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県各地の写真が多く掲載されており、郷土について自信を持てる構成内容となっている。</li> <li>チバニアンやニホニウムについての記述があるとともに、3学年の巻末では、日本人のノーベル賞受賞者が紹介されていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>最先端科学技術の情報を端的に厳選してまとめた記述となっている。</li> <li>日本の伝統科学技術についても、厳選し、端的にまとめられている。</li> </ul>  |
| ⑤      | <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元のはじめには、「これまでに学んだこと」が設定されており、既習事項の確認ができるようになっている。</li> <li>コラム「つながる科学」では、「発展・中3」や「発展・高校」など、上位学年での学習内容を見据えた内容が扱われている。</li> <li>「くらしと科学」では、生活のなかに潜む科学について、発展的でありながらも、分かりやすく簡潔にまとめられている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>コラム「科学のあしあと」では、科学史やそれに関わる人物を紹介する内容がある。その時代に日本ではどのような出来事が起こったのか等、社会科との連携も図られている。</li> <li>「思い出そう」では、下位学年での既習事項を確認でき、コラム「Science Press」では高校での学習内容とのつながりを意識した扱いとなっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>コラム「サイエンスカフェ」では、実社会において学習内容がどのように関連しているかを扱っている。生徒の興味関心を高められるよう配慮されている。</li> <li>単元はじめの「ふり返ろう・つなげよう」や単元中の「ふりかえり」では、既習事項の確認がなされている。</li> <li>「発展」では、上位学年での学習を見据えた内容が扱われている。</li> </ul> |

(種目：理科)

|    |   |   |
|----|---|---|
| 推薦 |   | ○   |
| 観点 | 発行者：17 教育出版<br>-----<br>(書名：自然の探究)  | 発行者：61 啓林館<br>-----<br>(書名：未来へひろがるサイエンス)  |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験が豊富で、生徒の体験的な理解を深める工夫がなされている。</li> <li>・探究の過程を重視した構成で特に、課題と結論との対応が明確になっている。</li> <li>・「学習前の私」と「学習後の私」を設定することで、生徒自身が学習をとおしてどう変容したかを捉えられる。</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験を骨格とした構成で、主要な実験の他に体験的な理解を補完する実験が紹介されており、生徒の主体的な活動を促すものである。</li> <li>・「学ぶ前にトライ」や「学んだ後にリトライ」を設定し、学習をとおして理解がどう深まったかを生徒自身で確認できるようになっており、学びの深化が期待できること等から県の施策に適合している。</li> </ul>  |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命や地球を扱う単位では、生命の尊さや自然の豊かさに触れられるよう配慮されている。</li> <li>・コラム「ハローサイエンス」において、環境や情報モラルなど道徳的な内容が取り上げられている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験の留意点が、生命愛護や環境保全の視点から、意義も含めて説明されているなど、生命や環境を大切にしている態度の育成が図られている。また、話し合い活動を通して、他者を尊重する態度の育成が期待できる。</li> </ul>  |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎技能として、理科室のきまりと応急処置について記載されており、絶対にしていけないことを禁止マークで強調してある。</li> <li>・コラム「ハローサイエンス」では人体の組織への影響等、健康や安全について記載されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイエンス資料「実験を正しく安全に進めるために」では、写真と共に適宜注意点やスキルについて丁寧に記載されている。</li> <li>・医療や福祉の視点で、最新の科学技術から生活や健康に対して結び付けている内容がわかりやすく記載されている。</li> </ul>  |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「科学者列伝」において、日本の科学技術の発展に寄与した科学者を紹介した記述がある。</li> <li>・チバニアンのコラムやニホニウム他、日本の科学技術について数多く、丁寧に説明されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統科学技術について、丁寧に記述されており、生徒の興味や関心の高まりが期待される。</li> <li>・チバニアンについてのコラムをはじめとし、日本人の業績や日本の技術についての扱いが豊富で、生徒の探究心の育成が期待できる。</li> </ul>  |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コラム「ハローサイエンス」や「発展」において、下位学年から上位学年に至るまで、系統的に学習内容が確認できるようになっている。</li> <li>・「思い出そう」や「おさらい」が各単元のはじめに設定されており、関連する内容の既習事項が確認できるよう配慮されている。</li> <li>・「ブリッジ算数」で、小学校算数との関連付けを図っている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「つながる学び」や「思い出してみよう」があり、既習事項の確認と先に学ぶ内容のつながりを系統的に捉えられるようになっている。</li> <li>・「お料理ラボ」や「お仕事ラボ」、「深めるラボ」など、コラムが豊富で、食育やキャリア教育と発展的内容との関連が充実しており、生徒のキャリア発達及び学習意欲の向上が期待できる。</li> <li>・惑星名の英語表記が為されていたり、「枕草子」の一節にある星のくだりで国語との関連に気づかせたりするようなつくりになっており、各教科での学習が相互に深められる内容になっていること等から学校の教育方針等に適合している。</li> </ul> |

(種目：音楽一般)

| 推薦 | ○   |  |
|----|---|--|
| 観点 | 発行者：17 教育出版<br>(書名：中学音楽 音楽のおくりもの)   | 発行者：27 教育芸術社<br>(書名：中学生の音楽)  |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学べるように教材の配列が工夫され、学習内容の関連が図られている。全学年にわたり示されている「学びのユニット」では、学びのねらいと学習する曲や活動、学習を生かして比べる曲が示されている。また、学びを深めるための曲や活動、学びの手がかりとなるヒントも記されている。</li> <li>対話的な学びが展開されやすいように、自分の考えをまとめたり話し合ったりする学習活動が盛り込まれている。</li> <li>指揮や唱歌等の体験活動につなげるよう工夫されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習のねらいや内容が明確に示されており、ポイントを押さえながら主体的に学習を進められるよう工夫されている。1年間の学習を振り返ることのできる教材も配列されている。</li> <li>対話的な学びを引き出すよう、意見を交流するためのヒントを提示している。</li> <li>プロの演奏家や指揮者から生徒へのアドバイスや、作曲者からのメッセージが掲載されており、より主体的・対話的に学びに向かうことができる。</li> <li>指揮や唱歌を活用し体験活動につなげるよう工夫されていること等から県の施策に適合している。</li> </ul> |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"> <li>生命の尊さや自然、故郷の大切さを尊重する態度が養われるような教材や、他者と関わり、協力的な態度を養えるような教材を取り上げている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>他者を尊重し、季節や自然、故郷を大切に思う心を育てることのできる教材や、個人の価値や生命の尊さを学ぶことができる教材を取り上げており、県の施策に適合している。</li> </ul>  |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「Let's Sing!」のコーナーで、歌うときの身体の使い方や変声期の発声について取り上げられている。自分の身体について正しく理解することが健康な生活を実践する態度を育成することにつながっている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「My Voice!」のコーナーで、歌うときの身体の使い方や変声期の発声について取り上げられている。自分の身体について正しく理解することが健康な生活を実践する態度を育成することにつながっており、県の施策に適合している。</li> </ul>  |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"> <li>民謡などの我が国の多様な民俗芸能を取り上げたり、雅楽や能、文楽、歌舞伎などの伝統芸能を関連づけながら配置したりして、生徒が郷土や我が国の音楽のよさを味わい、愛着を持つことができるように紙面の構成を工夫している。</li> <li>アジア地域の諸民族の音楽、諸外国の様々な音楽も取り扱っている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の伝統的な音楽や郷土の音楽を明確な観点をもって学習できるように配慮されている。自国の伝統と文化に対して誇りをもつことで、グローバルな社会に対応する力を育むよう意図されている。</li> <li>他国を尊重する態度を育成するため、アジアや諸外国の様々な音楽を教材として取り上げていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>   |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"> <li>確かな知識や技能が身に付けられるよう工夫されている。また、SDGsとの関連を取り上げ、幅広く発展的な学びにつなげる工夫が見られる。</li> <li>生活や社会において音楽が果たしている役割を感じ取ることのできる教材や、音楽文化についての理解を深めることのできる教材を取り上げている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽が生活・社会・文化にどう関わっているかを考えさせる教材を配列したり、SDGsとの関連を取り上げたりし、幅広く発展的な学びにつなげる工夫が見られる。</li> <li>生涯にわたって音楽に親しむ態度を育むため、多彩なジャンルの作品を紹介する資料が掲載されていること等から学校の教育方針等に適合している。</li> </ul>   |

## (種目：器楽合奏)

| 推薦 | ○  |   |
|----|--|---|
| 観  | 発行者：17 教育出版  | 発行者：27 教育芸術社  |
| 点  | (書名：中学器楽 音楽のおくりもの)   | (書名：中学生の器楽)   |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が主体的に学習に取り組めるような課題が設定されている。また、話し合いのテーマが明示されており、対話的な学びができるよう工夫されている。</li> <li>学びのねらいやポイント、まとめの曲が順序立てて配列されており、生徒が見通しをもって学習することができるよう工夫されている。</li> <li>プロの演奏家から生徒へのメッセージが掲載されており、より主体的・対話的に学びに向かうことができる。</li> <li>基礎的な奏法や楽器の特徴が分かりやすくまとめられている。また、「まなびリンク」として、二次元コードを読み取ると学習に役立つ情報をウェブサイトで見たり聴いたりすることができるようになっており、生徒が教科書やICT機器を使って自ら学べるように工夫されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習のねらいや内容が明確に示されており、ポイントを押さえながら主体的に学習を進められるよう工夫されている。また、対話的な学びを引き出すよう、意見を交流するためのヒントが提示されている。</li> <li>生徒の学習意欲を高める、多彩なジャンルの曲が配列されており、基礎的な練習曲から発展的なアンサンブル曲に至るまで、生徒の実態や習熟に応じて活用できるよう工夫されている。</li> <li>プロの演奏家から生徒へのメッセージが掲載されており、より主体的・対話的に学びに向かうことができる。</li> <li>二次元コードを読み取ると、演奏家について更に詳しく調べることができるようになっており、生徒の興味・関心を高めるよう工夫されていること等から県の施策に適合している。</li> </ul> |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"> <li>他者との交流やアンサンブルの表現を工夫することから、自他の敬愛や協力を尊重する態度が養われるよう適切に配慮された教材を取り上げている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>他者との交流やアンサンブルの表現を工夫することから、自他の敬愛や協力を尊重する態度が養われるよう適切に配慮された教材を取り上げており、県の施策に適合している。</li> </ul>   |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を通して豊かな生活をつくることのできるように、幅広い学習内容で、適切な教材が配列されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を通して豊かな生活をつくることのできるように、幅広い学習内容で、適切な教材が配列されており、県の施策に適合している。</li> </ul>  |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"> <li>和楽器の奏法を分かりやすく提示したり、それぞれの楽器の唱歌を取り上げたりすることで、我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるよう工夫されている。</li> <li>諸外国の音楽文化を尊重する態度が養われるよう適切に配慮された教材を取り上げている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>和楽器を活用した学習活動を通して、我が国の伝統的な音楽に親しみ、そのよさを味わえるように配慮されている。</li> <li>我が国の伝統的な音楽に使われている楽器や、諸外国の音楽で使用する楽器を紹介し、それらを用いる音楽により親しめるよう工夫されていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>   |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒や学校の実態に応じて、教材を選択して取り扱うことができるよう工夫されている。</li> <li>生活や社会において音楽が果たしている役割が感じ取れる教材や、音楽文化への理解を深められる教材が配列されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽が生活・社会・文化にどう関わっているかを考えさせる教材を取り入れ、発展的な学びにつなげる工夫がみられる。</li> <li>生徒が音楽科の学習で得た音楽経験や知識を、学校生活や家庭、地域社会での生活に生かすことができるように、生活の中にある様々な音や音楽への関心を促す特集が配置されていること等から学校の教育方針等に適合している。</li> </ul>   |

令和3年度使用県立千葉中学校教科用図書選定理由書

(種目：美術)

| 推薦 |  |   | ○   |
|----|--|---|---|
| 観点 | 発行者：9 開隆堂<br>-----<br>(書名：美術)  | 発行者：38 光村図書<br>-----<br>(書名：美術)   | 発行者：116 日本文教出版<br>-----<br>(書名：美術)  |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"> <li>多彩な作品や資料が配置されており、意欲を高め主体的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>学習指導要領が示す目標に基づき、題材ごとの目標を示し、深い学びにつながるよう見通しの持てる構成となっている。</li> <li>鑑賞資料では原寸大や部分拡大を効果的に用い、作品の魅力を発見させる工夫がされている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な作品や資料が配置されており、表現と鑑賞が一体的に学べるよう配慮されている。</li> <li>題材ごとの目標が明示されており、鑑賞の際の視点や、どのような活動をするのか見通しが持てる構成となっている。</li> <li>鑑賞資料は図版の見せ方や紙質など実感的な理解を深める工夫がされている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が主体的に学習に取り組めるよう成長に合わせた題材が選択できる構成となっている。</li> <li>学習指導要領が示す目標に基づき、目標や見方、考え方を意識できる「造形的な視点」を示し、深い学びにつながるような構成になっている。</li> <li>生徒作品を多く掲載し、学習者が活動をイメージしやすい構成になっていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>  |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分らしい表現の追求と道徳科「自分自身に関すること」内容とのつながり等、題材と内容項目との関連が明確に示されており、県の施策に適合している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳科とのつながりが示されている。特によく生きようとする心や公共の精神、相互理解に関する内容が充実している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>集団や社会との関りに関すること等、道徳科の内容項目との関連について、道徳マークを使って具体的に示されている。</li> </ul>  |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末資料で多様な用具を扱う際の注意事項が示されている。</li> <li>安心と安全のデザインという題材が設定されている。津波浸水深サイン等を紹介することを通して、安全面における美術の役割を意識させることができる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末資料で用具を扱う際の注意事項が示されている。</li> <li>ピクトグラム等、情報をわかりやすく伝えるためのデザインを取り上げ、デザインの工夫が安全を守ることに繋がっていることを意識させることができる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末資料で用具を扱う際の注意事項が示されている。</li> <li>東日本大震災をきっかけとした作品が大きく紹介されており、自然災害後の復興における美術の持つ力や、役割を意識できる内容となっていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>   |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本美術や伝統工芸に関わる多様な作品が紹介されており、身近な視点から日本の美術文化や自然との関わりを実感できるような内容となっている。</li> <li>作品制作の背景や技法について「美術の用語」という形で紹介されており、日本及び諸外国の作品の特色ある表現形式や異なる文化の理解に役立っていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の美術作品や絵巻物といった、独特な表現形式等が紹介され、それらの魅力が伝わる構成となっている。</li> <li>日本の美術文化と海外とのつながりを意識できるような工夫がある。作品と諸外国の作品を比較する中で、多様な価値観にふれ、日本美術の影響を実感できる構成となっている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>伝統工芸や伝統文化、諸外国の作品等が数多く紹介されている。日本の伝統文化の多様性や多文化共生の視点が実感できる内容である。</li> <li>作品を原寸大で掲載したり、高精細印刷を用いて色味や細かな表現の再現に努めたりしており、日本美術の繊細な表現を実感させることができる。</li> </ul>   |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「知的欲求、自主性、幅広く深い教養」に関しては、現代作家や現代美術を多く取り入れることにより、美術が特別なものではないという認識を生徒が持つことができるような工夫がある。</li> <li>全体を通して美術における多くのジャンルを取り入れており、「うるおいに満ちた人間性の育成」に役立つ内容となっている。</li> <li>民俗学的内容や漫画なども取り入れ幅広く「我が国の伝統や文化」を知ることができる。特に2・3学年において伝統的な作品を多く取り入れている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「知的欲求、自主性、幅広く深い教養」に関して、制作プロセスを掲載することで、制作をリアルに想像させ、自主的な取り組みが期待できる。また、デザイン・工芸のジャンルが充実しており、身近な美術から知的欲求を喚起させる内容となっている。</li> <li>絵画とデザイン工芸の比率が近く生活の中での美術を感じさせながら「うるおいに満ちた人間性の育成」を図ることができる。</li> <li>民俗学的内容や漫画なども取り入れ幅広く「我が国の伝統や文化」を知ることができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ジャンルに拘らず美術の世界を大きく捉えており1年生が新たに始まる美術というものを認識するために有意な構成となっている。現代における美術の役割などにも触れており、「幅広い教養」としての美術のあり方が理解できる内容である。</li> <li>それぞれのジャンルごとに細かな内容が取り入れられており「うるおいに満ちた人間性の育成」を図ることができる。</li> <li>古い作品と新しい作品、生徒作品を的確に配置し「我が国の伝統や文化」の持つ意味を理解させやすい内容となっていること等から学校の教育方針等に適合している。</li> </ul> |

令和3年度使用県立千葉中学校教科用図書選定理由書

(種目：保健体育)

| 推薦 | ○   |   |  |
|----|---|---|--|
| 観点 | 発行者： 2 東京書籍<br>（書名：新しい保健体育）   | 発行者： 4 大日本図書<br>（書名：中学校保健体育）  | 発行者： 50 大修館書店<br>（書名：最新中学校保健体育）  |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の流れが4ステップで明確に示されており、更に日常生活に関連付けながら構成されているので、主体的な学びに取り組みやすい内容になっている。</li> <li>生徒が自らインターネットを用いて動画や資料を確認できるようになっており、章末資料や読み物資料も豊富で興味・関心が高まる構成になっていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習のねらいが明確に示されており、生徒自身で学習の意義を理解しやすい内容である。</li> <li>イラストやグラフに対する説明が簡潔で、内容が端的に理解しやすくなっている。また、各小単の最後にキーワードが示されており、学習のまとめや振り返りがしやすい構成である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>課題の示し方や学習のまとめ方が多様で、生徒の生活を振り返らせたり、意見交換させたりと興味を引きつけやすい構成になっている。</li> <li>事例が豊富で、生活に直接生かせる工夫がされている。</li> </ul>   |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"> <li>生命尊重に関して、生殖機能の発達について理解を深め、異性の尊重や母体の神秘性について考えられる内容になっている。</li> <li>道徳教育との関連について、各章の初めに道徳科の内容項目が示され、更に道徳教育の関連場面を随所に掲載することで、道徳性を養う内容になっていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>生命尊重に関して、体の成熟と生命の誕生を時系列で示すことで生命の尊さについて考え、異性に対して理解し尊重する態度を養う内容になっている。</li> <li>道徳教育との関連について、認め合い尊重し合うことで個性や能力を大切にすることや、生命尊重等について扱っている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>生命尊重に関して、生殖にかかわる働きや成熟について、わかりやすい資料で理解を深める内容になっている。</li> <li>道徳教育との関連について、順法精神や社会参画・公共の精神国際理解等について、思考・判断・表現しやすい内容になっている。</li> </ul>  |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康の保持増進について、健康づくりのための課題解決に向けて、身近な場面設定や具体的な事例・方法を効果的な資料で取り上げ、思考・判断・表現しやすい内容になっている。特に、病気の予防や障害防止、応急手当、熱中症予防については、各資料が効果的に活用され主体的な学びがしやすい構成である。</li> <li>運動やスポーツの安全で効果的な行い方やスポーツ障害について、効果的な資料で科学的に理解できる内容になっている。</li> <li>安全教育については、具体的な事例をもとに思考・判断・表現することで、主体的に取り組みやすく危険予測と回避能力が身につく内容になっていること等から県の施策に適合している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康の保持増進について、健康な生活と病気予防のために具体的な事例・方法を取り上げ、思考・判断・表現しやすい内容になっている。病気の予防では、言語活動（ロールプレイング）を通して他者との関わりについて学べる内容になっている。</li> <li>運動やスポーツの安全で効果的な行い方やスポーツ傷害について保健分野と関連しながら理解が深まる内容になっている。</li> <li>安全教育について、防災では備えや災害発生時の行動を扱い、交通事故では自転車事故の加害責任やながらスマホ等を扱うこととで、自分事として考え、主体的に取り組みやすい内容になっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康の保持増進に関して、調和のとれた生活や生活習慣の健康への影響について、また環境の健康への影響について、具体的にわかりやすい資料を用いて、思考・判断・表現しやすい内容になっている。感染症については、原因や広がり、抵抗力、予防の方法について具体例を示し丁寧に扱っている。</li> <li>運動やスポーツの安全で効果的な行い方やスポーツ傷害について、イラストを効果的に取り入れて理解しやすい内容である。</li> <li>安全教育については、交通事故や自然災害、犯罪被害においてわかりやすい具体例を示すことで、危険を予測して回避する力を育てる内容になっている。</li> </ul> |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"> <li>中学生が地域の人と協力して活動する場面が随所に掲載されていたり、自分の地域について調べる活動が多数設定されたりするなど、郷土と国を愛する態度を養う内容になっている。</li> <li>スポーツにより国や民族を超えて人々が交流する姿が随所に掲載しており、他国を尊重し、グローバル社会に対応した資質を育む内容になっている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>様々なスポーツに取り組む日本人の様子等が多数掲載されており、スポーツを通して日本の特色や魅力を発信できる内容になっている。</li> <li>オリンピック等のスポーツ文化を学ぶことで、国際理解を深め、グローバル社会に対応した資質を育む内容になっていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な場面の日本の様子が写真等で紹介されており、日本の特色を詳しくつかめる内容になっている。</li> <li>様々なスポーツに取り組む様子が、民族や国、人種の違いが分かる写真等で取り上げられており、グローバル社会に対応した資質を育む内容になっている。</li> </ul>   |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「見つける」「活用する」のコーナーで、生徒が自主的に考えを深めることができる。また、実社会への共感を持ちやすい内容が多く取り上げられ、自主性を伸ばす内容になっている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「トピックス」「ミニ知識」で幅広く知識を身に付けられる工夫がある。また、章末の「学びを生かそう」で課題を示し、主体的に学びやすい構成であり、自主性を伸ばす内容になっている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>小單元ごとの「課題をつかむ」において、意見を出し合う活動が多く設定されており、共同的な活動の中でお互いの理解を深め豊かな人間性を育む内容になっている。</li> </ul>  |

(種目：保健体育)

|    |  |
|----|--|
| 推薦 |  |
| 観点 | 発行者：224 学研教育みらい<br>-----<br>(書名：中学保健体育)  |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"><li>各章末に「探求しようよ!」を取り入れて、生徒が主体的に調べ、話し合える内容が豊富に示されている。</li><li>各ページが同様の構成で、順を追って理解しやすくなっている。また、イラストやグラフに対する説明が簡潔で、内容が端的に理解しやすくなっている。</li></ul>   |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"><li>生命尊重に関して、生殖機能の成熟についてイラストや写真を効果的に取り入れ、理解を深められる内容になっている。</li><li>道徳教育との関連については、順法精神、社会参画・公共の精神、国際理解等について考え話し合う場面を設定し、道徳性が高められる内容になっている。</li></ul>  |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"><li>健康の保持増進について、健康な生活と病気の予防に関する有効な資料を取り上げたり、各コラムも随所に取り入れたり、興味・関心が高まる内容である。生活習慣病、がん、喫煙、飲酒、薬物乱用、感染症、エイズ等、課題設定しやすい構成である。</li><li>運動やスポーツの安全で効果的な行い方やスポーツ傷害について、図表やイラスト、写真などが効果的に挿入されて理解しやすい内容になっている。</li><li>安全教育については、様々な場面でのけがの防止について学ぶとともに、実習例(心肺蘇生法、止血法、包帯法、固定法など)を具体的に示し主体的に取り組める内容になっている。</li></ul> |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"><li>「ひと」や「コラム」などで、今までの日本や日本人の取り組みを取り上げることで、郷土や国を愛する態度を養う内容になっている。</li><li>「コラム」や「探求しようよ」などで、民族や国、人種等を越えてつながり合う資料が充実しており、グローバル社会に対応した資質を育む内容である。</li></ul>  |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"><li>随所に生徒自身が考えを深めたり、意見を出し合ったりするコーナーがあり、主体的かつ共同して学習に取り組み、豊かな人間性を育む内容になっており、学校の教育方針等に適合している。</li></ul>   |



令和3年度使用県立千葉中学校教科用図書選定理由書  
(種目：技術・家庭(技術分野))

| 推薦     |   |  | ○   |
|--------|---|--|---|
| 観<br>点 | 発行者：2 東京書籍<br><br>(書名：新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology)   | 発行者：6 教育図書<br><br>(書名：New 技術・家庭 技術分野 明日を創造する)  | 発行者：9 開隆堂<br><br>(書名：技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて)  |
| ①      | <ul style="list-style-type: none"> <li>「活動」が多く取り上げられており、学習過程の中に、主体的に調べたり、友達と協働して比較・検討したりするための発問が設けられ、深い学びの実現に向けた工夫がされている。</li> <li>学習過程が統一され、様々な学習方法や問題解決の過程がわかりやすく示されている。参考資料も充実しており、よりよい生活や持続可能な社会を構築するための資質・能力の育成が図られている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の流れが見える紙面となっている。授業展開がしやすく構成されている。「やってみよう」を多く掲載し、話し合い活動や体験活動を取り入れられるように工夫されている。</li> <li>動きの確認ができる参考資料を掲載し、ICTを活用することで学びの質を高め、さらに情報をうまく活用する能力を育むことができるように工夫されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各導入課題を通して、生徒が授業へ積極的に取り組むように配慮されている。また、適所に「調べてみよう」や「考えてみよう」などの活動が配置しており、他者との関わり合いの中で、理解を深める工夫が充実している。</li> <li>確かな学力を身に付けるために、アクティブ・ラーニングの視点によりすぐれ主体的な学びができるよう導入を配慮している。また、実験や課題を通して対話的な学びができるように、より優れた工夫がされていること等から県の施策に適合している。</li> </ul> |
| ②      | <ul style="list-style-type: none"> <li>生命の尊重、環境保全に加え、動物福祉の視点も取り入れられている。</li> <li>道德教育との関連を図り、情報モラルの必要性を実感しやすくなるよう構成されている。</li> <li>身近な社会問題や障害のある人とともに支え合う技術について触れられている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>生命の尊重、環境保全、遵法の精神に関わる道徳的内容が関連付けられている。</li> <li>情報モラルや知的財産を扱う内容にはマークが付され、豊富なイラストで理解を助ける工夫がされている。</li> <li>身近な社会問題や特別支援教育の視点も取り入れられている。</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>生命の尊重や環境保全に関わる道徳的内容が関連付けられている。</li> <li>著作権や情報モラル等では、日常生活と関連させ、遵法の精神や情報を適切に扱う態度が養われるよう構成されている。</li> <li>障害のある人の生活を負担、軽減するための身近な技術や課題解決の題材が扱われていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>   |
| ③      | <ul style="list-style-type: none"> <li>実習時に安全に留意して取り組めるようイラストや写真により、分かりやすくポイントを示したり、「安全」マークを付している。</li> <li>災害時の事故防止についても触れられていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全な工具の取扱いや作業のポイントとして、実習前、実習中、実習後に分けたり、別冊ハンドブックにまとめたりし、イラストや写真で示されている。</li> <li>建物の地震の揺れに備える3つの方法が紹介されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全に関する記述には、マークを付して分かりやすく示されている。</li> <li>作業中の事故防止のポイントやSNS等のトラブルに関する対処法について、折込ページにまとめるなど、安全に関する注意喚起が工夫されている。</li> </ul>  |
| ④      | <ul style="list-style-type: none"> <li>最新の技術についての記載もあり、プログラミング言語に関してもグローバルな視点でプログラミングを学べるような構成になっている。</li> <li>国と郷土を愛する態度を養う内容になっていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>情報技術だけでなく、様々な内容で未来の技術について触れられており、「夢をかなえる技術」としてこれからの技術について、社会の構築を意識して、学ぶことができるように配慮されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な社会や未来について多くの箇所でも触れており、これからの国や社会に、生徒自らが参加し、貢献していこうとする資質を育てることができるように配慮されている。</li> </ul>  |
| ⑤      | <ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決学習を軸に各内容が組み立てられており、学習することにより、知識の定着だけでなく、生徒の自主性を伸ばし、他者と互いに高めあうことで豊かな人間性を育むことができるように配慮されている。</li> <li>自ら社会に貢献するための内容についても記載されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>各内容に「学びを深め生かそう」という章が設定されており、知的欲求に働きかけ、自主的に高度な教養を身に付ける姿勢を育成することができるように配慮されている。</li> <li>伝統的な技術や文化についての内容に多く触れられており、高い志を育成することができるように配慮されている。</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>各内容に「考えてみよう」や「課題」が数多く設定されており、学習内容を自主的に考え、深められるように配慮されている。また、基礎的な技能に加え、発展的な内容を身に付けることができるようにも配慮されている。</li> <li>伝統的な「技」についても多く紹介されており、充実した内容となっていること等から学校の教育方針等に適合している。</li> </ul>   |

| 推薦 |   |  | ○   |
|----|---|--|---|
| 観点 | 発行者：2 東京書籍<br>(書名：新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して)   | 発行者：6 教育図書<br>(書名：New 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する)   | 発行者：9 開隆堂<br>(書名：技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生)  |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"> <li>導入、展開、まとめで構成され、思考を深める活動が数多く取り上げられており、主体的に調べたり友達と協働して比較、検討したりする発問が設けられ、深い学びの実現と問題解決能力を高めるように工夫されている。</li> <li>現代的諸課題に対する資料やレポート例が充実し、巻末の言葉や頁下のメモでは、言語能力の育成にも配慮されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>見つめる、学ぶ、ふり返るの流れで展開し、話し合ってみよう、調べてみようなど、実践的、体験的な活動を通して学ぶことができるワークが掲載され、主体的、対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。</li> <li>現代的諸課題に対応し、学習基礎となる資質、能力が育まれるよう、内容が配慮されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的、対話的で深い学びの流れで構成され、学習への関心を高めて課題に取り組み、生活に生かす学習過程が重視され非常に充実している。</li> <li>現代的諸課題に対応し、学び方や進め方を同一プロセスで実践できるように丁寧な配慮がされている。生活に役立つ豆知識と実習や製作頁の参考資料が非常に分かりやすく掲載されていること等から県の施策に適合している。</li> </ul> |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳と関連を示す「他教科」マークが多数記載され、道徳を意識した指導がしやすくなるよう工夫されている。</li> <li>衣服のリメイクやリサイクルなど、環境保全に関する内容には「環境」マークで示され充実していること等から県の施策に適合している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳の学習との関連が図られた内容に「リンクマーク」が付され、生活習慣の振り返りができるよう工夫されている。</li> <li>家庭分野の特性と関連させて、望ましい生活習慣や、家庭生活の充実などの内容を意識した構成となるよう工夫されている。</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳と関連がある内容には、「他教科」マークで示され、道徳的価値に触れる資料が掲載されている。</li> <li>食品ロスやエコクッキングなど、食と環境保全を関連付けた一貫性のある指導がしやすくなるよう構成されている。</li> </ul>  |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"> <li>実習の流れに沿って、安全面、衛生面の注意事項がまとめられている。</li> <li>「防災・減災手帳」や「子供の視界体験眼鏡」が用意され、防災意識や幼児の事故防止の学習効果を高める工夫がされている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>各種実習を行う際の安全面、衛生面に関する注意事項が、分かりやすく、充実している。</li> <li>自然災害への備えに関する資料が豊富で、防災意識を高める工夫がされている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>実習時の安全面、衛生面からの事故防止に配慮した注意喚起が工夫されている。</li> <li>折込みページの防災に関する資料では、防災と共生の両面を意識した構成とするなど、工夫がされていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>  |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"> <li>わが国の文化や知識を理解するだけでなく、グローバルな視点で、これからの消費生活や共生社会について考察することができるように配慮されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>わが国の郷土や国の文化を理解することができ、それらを基盤とした衣食住の生活について考察できるように配慮されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な社会や生活に関して、各章で触れられており、これからの生活などに対する自己の姿勢を考えることができるように配慮されてされており、県の施策に適合している。</li> </ul>  |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"> <li>豊富な知識を身に付けるだけでなく、自主的に学び考えるという視点で、構成されている。</li> <li>「考えてみよう」「話し合ってみよう」という項目があり、豊かな人間性や社会を目指すうえで、必要な考え方を身に付けることができるように配慮されている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>身に付けた知識や技能を実社会で生かすことができるように「学びを生かそう」という項目が各項目に設定されており、高い志を育成することができるように配慮されている。</li> <li>主体的・対話的な活動が設定されており、これを通して豊かな人間性を育むことができるように配慮されている。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>衣食住の生活に関して、わが国の伝統的な文化について、深く触れており、生活や社会を理解する上での基盤を育成することができるように配慮されている。</li> <li>「生活の課題の実践」では、自主的に学び、考える姿勢を育成するだけでなく、実社会への理解を深めることができるように配慮されていること等から学校の教育方針等に適合している。</li> </ul>           |

令和3年度使用県立千葉中学校教科用図書選定理由書

(種目： 外国語 )

| 推薦 |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 観点 | 発行者： 2 東京書籍<br>(書名： NEW HORIZON )   | 発行者： 9 開隆堂出版<br>(書名： SUNSHINE )   | 発行者： 15 三省堂<br>(書名： NEW CROWN )   |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"><li>目的・場面・状況に合わせたコミュニケーション能力を育成するための実生活に即した言語活動が充実している。</li><li>テーマ別自己表現活動を設定し、4技能5領域を統合的に扱う活動を通して、自分の意見を伝え合ったり、発表したりする発信型の活動ができるように工夫されている。</li><li>巻頭の「学習の見通しを立てよう」で目標を把握し、巻末の「学習をふり返ろうー CAN-DO リストー」で自己評価しながら、主体的に学習できるように配慮されている。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>場面性のあるペアやグループでの活動を多数設定し、目的・場面・状況を意識したコミュニケーション活動を行うことができるように工夫されている。</li><li>4技能5領域を統合的に活用する活動が設定され、協働学習を通して即興性や自分の意見を伝え合う力を育成する学習活動が充実している。</li><li>巻末の「できるようになったこと」リストにより、領域別に自分が身に付けたことを確認しながら主体的に学習できるように配慮されている。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>文法事項や文構造等を習得した後、それらを活用して目的・場面・状況に応じて概要や要点を捉えたり、表現したりする構成になっており、言語活動が充実している。</li><li>4技能5領域統合型の活動が設定されており、即興で伝え合ったり、自分の考えや気持ちを整理して伝えたりする活動ができるように工夫されている。</li><li>巻末の「What Can I Do?」により、領域別に自分は何ができるようになったかをふり返りながら主体的に学習できるように配慮されていること等から県の施策に適合している。</li></ul> |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"><li>思いやり、友情、相互理解、勤労、集団生活の充実、国際貢献など、人との関わりや集団や社会との関わりについて考えることを通して、道徳心を養う内容となっている。</li></ul>   | <ul style="list-style-type: none"><li>思いやり、友情、相互理解、社会正義、社会参画、国際貢献など、人との関わりや集団や社会との関わりについて考えることを通して、道徳心を養う内容となっている。</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>思いやり、相互理解、社会正義、社会参画、勤労、国際貢献など、人との関わりや集団や社会との関わりについて考えることを通して、道徳心を養う内容となっていること等から県の施策に適合している。</li></ul>  |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"><li>防災・安全に関するトピックの他に、キャリア、環境、福祉といった今日的な内容話題が取り上げられている。</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>環境保全やキャリア教育、エネルギー問題、人権問題といった今日的な話題が取り上げられている。</li></ul>   | <ul style="list-style-type: none"><li>共生社会や自然環境保護、防災人権問題といった今日的な話題が取り上げられている。</li></ul>   |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"><li>身近な日本の話題から日本の伝統・文化を見つめ直す題材や異文化や国際社会について知る題材、SDGsに関連した題材を扱うなど「地球市民」として心を育む内容となっている。</li><li>英語を学ぶとともに視野を広げ、積極的に世界とつながろうとする心を育むことができる内容となっている。</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>日本の伝統や文化を発信す題材や自然科学や生物界の人間として自覚を促す題材、SDGsに関連した題材を扱うなど「地球市民」として豊かな感性を育む内容となっている。</li><li>国際理解を深め国際協調の精神を養い、英語で自国の文化や自分の考えを発信する力を養う内容となっている。</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>身近な日本の話題から伝統文化や平和、自然科学、環境、そして他国の文化などについての題材が広く扱われ、SDGsについての知識や考えを深める内容となっている。</li><li>様々な人や文化等に触れ、社会の多様性を理解し関わっていく力、豊かな心を育成できる内容となっている。</li></ul>   |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"><li>英語圏だけでなく非英語圏まで広く取り上げられ、バランスのとれた国際人を育成するよう配慮されている。</li><li>基礎基本の定着を図るための3年間の文法配列も適切であり、基本文の構造が分かりやすい。</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>「話すこと」を軸に総合的に扱い、統合的に活用して思考力、判断力、表現力を育成する構成となっている。</li><li>即興力の育成を目指し、「話す」力を自然に着実に身に付けることのできる構成となっている。</li></ul>   | <ul style="list-style-type: none"><li>知的好奇心を満たす内容であり、語彙力を広げるなど自律的学習者を育成できるよう配慮されている。</li><li>多様な学び方を体験しながら、学ぶことを楽しむ心と、主体的・協働的に学ぶ力を育成する内容となっている。</li></ul>   |

令和3年度使用県立千葉中学校教科用図書選定理由書

(種目： 外国語 )

| 推薦 | ○   |   |   |
|----|---|---|---|
| 観点 | 発行者： 17 教育出版<br>-----<br>(書名： ONE WORLD )   | 発行者： 38 光村図書<br>-----<br>(書名： Here We Go! )   | 発行者： 61 啓林館<br>-----<br>(書名： BLUE SKY )   |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"> <li>本文を通して言語材料、言語の使用場面、言語の働きを理解し、場面設定のなかで、思考を働かせて表現することができるように工夫されている。</li> <li>グループなどで協働しながら、4技能5領域を総合的・統合的に活用し、既習の言語材料を用いて課題を達成していく学習活動が充実している。</li> <li>巻末の「Can-Do 自己チェックリスト」は5領域ごとに学習到達目標の達成度を確認しながら、主体的に学習できるように配慮されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションの目的・場面・状況を設定した教材を取り入れ、即興力や実践的な英語力を伸ばすための活動が充実している。</li> <li>4技能5領域を統合した言語活動が設定され、情報を共有・伝達したり、問題を解決したりする学習活動を通して、自ら考え、表現する力を育成する活動になるように工夫されている。</li> <li>各教材の冒頭で技能別の目標を把握し、巻末の「CAN-DO List」で領域別に自分の達成度をチェックしながら、主体的に学習できるように配慮されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な話題から社会的な話題まで、生徒の興味・関心を引き出す題材を取り入れ、即興で対応する力を育成する活動が充実している。</li> <li>4技能5領域を統合的に活用する学習活動が設定され、協働学習を通して、自分の考えや意見を伝える活動ができるように工夫されている。</li> <li>各単元冒頭の到達目標で、何ができるようになるかを意識し、巻末の「Can-Do リスト」で自己評価をすることで、主体的に学習できるように配慮されている。</li> </ul> |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"> <li>自主・自律、思いやり、相互理解、社会参画、勤労、国際貢献など、人との関わりや集団や社会の関わりについて考えることを通して、道徳心を養う内容となっている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>思いやり、相互理解、社会参画、勤労、集団生活の充実、国際貢献など、人との関わりや集団や社会の関わりについて考えることを通して、道徳心を養う内容となっている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>思いやり、友情、相互理解、社会正義、勤労、国際貢献など、人との関わりや集団や社会の関わりについて考えることを通して、道徳心を養う内容となっている。</li> </ul>   |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"> <li>共生社会や自然環境保護、キャリア、福祉といった今日的な話題が取り上げられている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育、福祉、平和、環境問題といった今日的な話題が取り上げられており、県の施策に適合している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>共生社会、福祉、平和、環境問題といった今日的な話題が取り上げられている。</li> </ul>  |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な話題から、日本の文化・伝統を見つめ直し、社会や将来を考え、思考や共感力を高める題材が扱われ、SDGs についての幅広い視野を育むことができるような内容となっている。</li> <li>世界と日本を知り、豊かな感性で、グローバルな課題に身近な場所から取り組める内容となっている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な話題から日本の伝統や文化を考え、社会的、時事的な話題に広がり、異文化理解を深めSDGs に関連した題材を扱うなど「地球市民」として心を育む内容となっている。</li> <li>多様な題材を通し世界への視野を広げて国際理解を深めグローバルな見方・考え方を育めるような内容となっていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>特定の分野に偏らず身近な話題から日本の文化、自然、社会などの話題から、SDGs に関連した話題に広げ、豊かな感性を育むことができるような内容となっている。</li> <li>グローバル化社会を見据え、世界で起こっている出来事に関心が持てるような内容が多く取り扱われている。</li> </ul>  |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"> <li>発達段階に配慮した題材で、学習段階に応じた言語活動が行えるよう配慮されている。</li> <li>英語を通じてグローバルな問題意識を含むさまざまな題材であり、幅広く深い教養を育成する内容となっている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒に身近な話題や多彩な自己表現活動が扱われており、生徒が主体的に自分の考えを発信する機会を十分に提供できる内容となっている。</li> <li>語彙数が多く取り扱われ、学んだ知識を自分の生活や実社会の問題、他教科の学習等と結び付け、深い学びを実現する内容となっていること等から学校の教育方針等に適合している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>興味関心を引く内容であり、補充的発展的な学習にも配慮されている。</li> <li>膨大な情報を見極めながら複雑な状況変化の中で、目的に応じた考えを再構築したりするなどの資質・能力を育成する内容となっている。</li> </ul>  |

令和3年度使用県立千葉中学校教科用図書選定理由書

(種目：特別の教科 道徳)

| 推薦 |   |   |  |
|----|---|---|--|
| 観点 | 発行者：2 東京書籍<br>-----<br>新訂 新しい道徳   | 発行者：17 教育出版<br>-----<br>中学道徳 とびだそう未来へ   | 発行者：38 光村図書<br>-----<br>中学道徳 きみが いちばん<br>ひかるとき   |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年2つのテーマで体験的な学習ができる教材「アクション」を配置し、役割演技ができる工夫がなされている。</li> <li>各学年1つのテーマで2時間扱いの問題解決的な学習を配置し、問題提起から解決を図る流れの中で、道徳的諸価値について考えることができる構成になっている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>体験的な学習に適した教材には「やってみよう」が設けられており、役割演技や日常体験を想起して演じたり話し合ったりする活動が取り入れられている。</li> <li>異なる立場からの考えを取り上げた教材や登場人物が判断を迫られる場面が中心となる教材など、多面的・多角的に考え、議論することができるような構成になっていること等から県の施策に適合している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年に4か所、「深めたいむ」を配置し、役割演技や話し合い活動などを通して考えを深められるようになっており、体験的な学習や問題解決的な学習に取り組むことができる。</li> <li>各学年のコラムにある「広げよう」では「人と人との関係づくり」があり、よりよい人間関係を築くための内容が配置されている。</li> </ul>               |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"> <li>全学年を通じて、命やいじめのない世界について考える教材を3つずつ掲載していることで、重点的に指導できるとともに、教材の中でも関連させられる教科等を明示し、他教科等と関連させて指導できるようにしている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>全学年を通じて、「生命の尊さについて深く考える教材」を3つずつ、「いじめや差別のない社会について深く考える教材」をユニット化して掲載していることで、重点的に指導できるようにしている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>全学年を通じて1年間の学びを「いじめを許さない心について考える」「歩いてきた道を振り返る」等テーマ毎にユニット化しているため、他教科と関連付けてテーマについて考えることができる。</li> </ul>  |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「スマホ依存」や生活のリズムに関する教材を扱い、自分の生活習慣を振り返らせている。</li> <li>SNSや著作権などの情報モラルに関する教材を扱っている。</li> <li>友達とのSNSのやりとりでの注意点を考えさせている。</li> <li>第2学年で東日本大震災を扱い、マニュアルどおりにいかない避難について考えさせていること等から県の施策に適合している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>生活のリズムやお金の使い方に関する教材を扱い、自分の生活習慣を振り返らせている。</li> <li>SNSや「歩きスマホ」などの情報モラルに関する教材を扱っている。</li> <li>日常生活の中のルールやマナーについて深く考えさせている。</li> <li>地震や豪雨など、さまざまな災害について扱い、防災のあり方について考えさせている。</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>「スマホ依存」や生活のリズムに関する教材を扱い、自分の生活習慣を振り返らせている。</li> <li>著作権やSNSなどの情報モラルに関する教材を扱っている。</li> <li>インターネットを利用させるときの注意点について深く考えさせている。</li> <li>第3学年で東日本大震災を扱い、生命の尊さについて考えさせている。</li> </ul> |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"> <li>第2学年の「書道パフォーマンスの挑戦」では、高校生が伝統を継承しつつ新しいものを生み出そうとしている様子から伝統文化について考える内容となっている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>第2学年の「狂言師・野村萬斎物語」では、伝統文化を受け継ぎながら世界に向けて発信していく主人公の様子から、伝統文化の継承や国際理解について考える内容となっていること等から県の施策に適合している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>第2学年の「アンネのバラ」では、東京都の中学生の取り組みを題材とし、その中学生たちが取り組んでいる委員会活動を通して、自分たちのできる身近な国際貢献、社会貢献の形を考える内容になっている。</li> </ul>   |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の付録「郷土のことを考える」では、全国各地の郷土の発展を支える人物や伝統・文化、技術や産業について掲載されており、「わが国の伝統を文化に対する理解」を深める内容となっている。</li> <li>第2学年「注文をまちがえる料理店」は、認知症との向き合い方を通して「相互理解、寛容」について考える内容となっている。</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域に代々受け継がれているものの背景や受け継いでいる人々の思いについて考えさせる内容が多い。また、各学年の巻末資料で全都道府県に関わりのある著名人の言葉も掲載されている。</li> <li>第1学年「『いじり』？『いじめ』？」は、身近で起こりそうなことを題材としており、「相互理解、寛容」について考える内容となっている。</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が自分の暮らす地域のよさを見つめられるよう、地域で活躍する人々の姿など、それぞれの学年で、「わが国の伝統や文化に対する理解」を深める教材が配置されている。</li> <li>第3学年「鉄腕アトムをつくりたい」では、AIを題材としており、「真理の探究、創造」について考える内容となっている。</li> </ul>                   |

令和3年度使用県立千葉中学校教科用図書選定理由書  
(種目：特別の教科 道徳)

| 推薦     | ○   |  |   |
|--------|---|--|---|
| 観<br>点 | 発行者：116 日本文教出版<br>-----<br>中学道徳 あすを生きる  | 発行者：224 学研教育みらい<br>-----<br>新・中学生の道徳 明日への扉   | 発行者：232 廣濟堂あかつき<br>-----<br>中学生の道徳 自分を見つめる1<br>自分を考える2 自分をのばす3  |
| ①      | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年に2教材、体験的な学習に適した教材が配置されており、1時間で無理なく実施できる活動を精選している。役割演技を見るとき視点や意見発表の流れを具体的に示す工夫がされている。</li> <li>各学年に4教材、問題解決的な学習ができる教材が配置されており、議論のステップを示し、効果的に学習を進められるように構成されている。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>教材後にある「深めよう」では、ステップごとに具体的な例が提示されている。</li> <li>「やってみよう」では役割演技の流れや視点が表示されており、体験的な学習をすることができるよう工夫されている。</li> <li>「話し合おう」では話し合いの形態や発問が表示されており、問題解決的な学習をすることができるよう構成になっていること等から県の施策に適合している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>役割演技や動作化、追体験など、道徳的行為に関する体験的な学習を通して、道徳的諸価値についてより深く考えられる教材が配置されている。</li> <li>多面的・多角的に考えながら話し合いをするなど問題解決的な学習を通じて、道徳的諸価値のよさを理解し、発展させる教材を数多く取り上げている。</li> </ul>         |
| ②      | <ul style="list-style-type: none"> <li>「いじめ」の認知件数に関する具体的なデータをもとに、「いじめ」が起きやすい時期にユニット『「いじめ」と向き合う』を配置している。その中で複数の教材をまとめて掲載して、いじめについて考えさせるとともに、他教科等とつなげていくようなコラムも充実しており、県の施策に適合している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「かけがえのない命」、「いじめをなくすために」というテーマで複数の教材を掲載しており、特設ページ「クローズアップ」では他教科とも関連させながら考えさせるテーマを取り上げている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>生命尊重、いじめ防止に関わる教材が全学年を通じて掲載されている。また、巻末の内容一覧では他教科・領域との関わりも明確に表示されており、他の教育活動と関連を図りやすくなっている。</li> </ul>  |
| ③      | <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車の安全な乗り方等について扱い、日常の安全や生活習慣について振り返らせている。</li> <li>全学年を通じて、スマートフォンやインターネットのトラブルなど情報モラルに関する教材を扱っている。</li> <li>東日本大震災についての教材の後に「プラットホーム」で減災を扱い、地域や人のつながりを考えさせている。</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>生活リズムに関する教材を扱い、自分の生活習慣を振り返らせている。</li> <li>全学年を通じて、SNSや「ネット依存」などの情報モラルに関する教材を扱っている。</li> <li>全学年を通じて、復興や災害への備えを扱い、安全のために日頃から自分にできることを考えさせている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>時間の使い方に関する資料を扱い、自分の生活習慣を振り返らせている。</li> <li>SNSなどの情報モラルに関する教材を扱っている。また、巻末に情報機器の資料を学年ごとに内容を変えて掲載している。</li> <li>第1学年で阪神・淡路大震災を扱い、生命の尊さについて考えさせている。</li> </ul>         |
| ④      | <ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年の「震災を乗り越えて」「花火に込めた平和への願い」では、岩手県と新潟県の中学生が登場しており、郷土愛と国際貢献について、登場人物と自分たちを重ね合わせながら考える内容となっている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年の「日本の心と技」では日本で活躍している外国人、第2学年の「危険地帯から実りの土地へ」では海外で活動している日本人を教材として国際協調や国際貢献について考える内容となっている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>第2学年の「国」では、元プロ野球選手の王貞治さんを教材とし、王さんの国に対する思いを考えさせることを通して、国を愛する心や国について考えるような内容となっている。</li> </ul>   |
| ⑤      | <ul style="list-style-type: none"> <li>全国各地の魅力ある題材が教材・コラム化され、生徒が興味をもって学習できるよう工夫されており、そこから自分たちの地域の魅力を発見し、発展に尽くそうとする意欲を育もうとしている。</li> <li>第1学年「緑のじゅうたん」は国立競技場の整備について扱う題材であり、「真理の探究、創造」について考える内容となっていること等から学校の教育方針等に適合している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>実在の人物や実際の出来事を題材としているものが多く、その人物や周りの人々の思いを考えさせることを通して、郷土や国の伝統や文化を深く理解していくような内容になっている。</li> <li>第1学年「ゲームから広がる可能性」でアプリ開発を題材とし、生徒にとって、関心の高い教材であり、「真理の探究、創造」について考える内容となっている。</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年に災害からの復興を題材にしている教材が掲載されている。被害にあわれた人々の思いを考えることを通して、自分が郷土のためにできることを考えさせる内容になっている。</li> <li>第3学年「招集通知」は裁判員制度など時事的な内容を扱っており、「社会参画、公共の精神」について考える内容となっている。</li> </ul> |

(種目：特別の教科 道徳)

|    |  |
|----|--|
| 推薦 |  |
| 観点 | 発行者：233 日本教科書<br>-----<br>道徳 中学1生き方から学ぶ 中学2生き方を見つめる 中学3生き方を創造する  |
| ①  | <ul style="list-style-type: none"><li>・自分事として話し合うことができる教材や、教室で自然と議論が巻き起こるような教材が多く配置されている。</li><li>・各教材には教材後に「考え、話し合ってみよう。そして、深めよう」に生徒の思考を揺さぶるような2～3つの発問が配置されている。</li></ul>   |
| ②  | <ul style="list-style-type: none"><li>・いじめをなくす、生命を尊ぶ内容の教材が各学年に複数掲載されている。また教科書の順番が全学年において内容項目毎に配列されており、他教科における道徳教育と関連させやすくなっている。</li></ul>  |
| ③  | <ul style="list-style-type: none"><li>・食べることの大切さや節制に関する教材を扱い、自分の生活習慣を振り返らせている。</li><li>・全学年を通じて、SNSやスマートフォンの使い方などの情報モラルに関する教材を扱っている。</li><li>・第2学年の「話してみよう」では、「防災力を身につける」内容を取り扱い、安全のために日頃から自分にできることを考えさせている。</li></ul> |
| ④  | <ul style="list-style-type: none"><li>・第3学年の「小泉八雲が見た出雲の国」では、小泉八雲の日本に対する思いを通して、我が国の誇れるところについて考える内容となっている。</li></ul>   |
| ⑤  | <ul style="list-style-type: none"><li>・各学年で歴史上の人物を題材としており、その人物たちの思いや行動を考えることを通して、郷土に対する思いを深めることができる。</li><li>・第1学年「二つの足跡」は、生徒同士の議論が活発になるようなイラストの教材であり、「相互理解・寛容」について考える内容となっている。</li></ul>                              |